

INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY

ICU ALUMNI ASSOCIATION 3-10-2, Osawa Mitaka-shi, Tokyo 181-8585 TEL&FAX: 0422 33 3320 https://www.icualumni.com/ E-mail: aaoffice@icualumni.com/

ALUMNI NEWS VOL.130 MAR.2019

大特集 ICU の入試: 変わるものと、 変わらないものと

小特集 世界の主婦から: p.06,07 **桜祭りのご案内**: p.22

大特集 ICUの入試: 変わるものと、変わらないものと

「二次試験や面接がないのに2日もかかる入試」を受けてから30年以上経つが、いまだに2月ごろになるとふと思い出す。「よく最後まで脱落しなかったものだ」と。そんなICUの入試制度が、18歳人口の減少、外国語教育やリベラルアーツを標榜する他大学の台頭など、厳しさを増す外部環境の中で、優れた学生を丁寧に選抜しようと模索を続けている。

ICU入試の現状を分析する

文:新村敏雄(本誌)

1992年度をピークに 志願者数は減少

少人数授業、厳しくも充実した英語教育、自然に恵まれ広々としたキャンパスなどから、筆者は「ICUは昨今でも受験生には人気がある大学」と思っていたが、一般入試の志願者数はここ10年ほど2000人に届かず、倍率にして3倍程度と、意外に「落ち着いた」状況にある(データは大学パンフレットより)。

1992年度の6749人をピークに、2006年度に初めて2000人を割り込むと、以降2000人割れが続き、2019年度(2019年2月の入試)では1331人とここ30年あまりの最低を更新した。

もちろん、志願者数の低下傾向がそのままICUへの注目度の低下と受け止めるのは早計すぎる。志願者が何人であろうと、大学側が「来てほしい」と思う学生が最終的に定員以上入学しているなら、入学時の選抜は目的を達成していると言えるからだ。

次々に新設される「国際」「教養」学部

改めて指摘するまでもなく、この30年 ほどで大学を取り巻く環境は激変している。 18歳人口は92年の205万人から2017年 には120万人まで半分近く減少。一方、大 学・大学院の在籍者数は逆に上昇、ここ 10年ほどは280万人あたりで横ばいとなっている。「過年度高卒者」(=浪人) も含 めた大学への進学率は2017年で過去最高 に近い52.6%となった(データはいずれも 文部科学省)。大学・短大の数も2001年をピークに減少が続いているものの、「小さくなっていくパイの取り合い」が起きている結果、日本私立学校振興・共済事業団の2018年度の調査によれば、36.1%の私立大学で定員割れが起きた。ただ、そのほとんどはICUより定員が更に少ない小規模大学だった。大規模な大学では定員は確保できている。

とはいえ、志願者数の減少には理由があるはずだ。因果関係は証明しにくいのであくまで推定だが、「国際」「グローバル」「教養」がつく学部が近年増えていることは影響があるかもしれない。主に東京の私立大で、「国際」「教養」「グローバル」といったキーワードが入っている学部が毎年のように新設されており、どこを受けるか研究する受験生も大変ではないかと感じるほどだ。そして、「全授業が英語」「全員海外留学必須」を掲げている例も少なくない。留学はともかく、「全授業が英語」で全学生がついていけるのか気になるところではある。

しかも、ICUと違い、同じ学部を複数回受験できる方式が結構採用されている。たとえば複数種類の入試で試験日も複数あり最大7回の受験が可能な大学や、一般入試で最大3回、全国7都市で受験できる大学もある。一方、ICUは一般試験のチャンスは2回まで(A方式、B方式の併願)。センター試験はいまは利用していない。試験会場は三鷹のみ。試験時間も1日にはなったが、試験時間の合計だけでみっちり4時間強かかる(A方式の場合)。

ICU志願者、合格者の推移



表1 教養学士の学位を目指す学生のための入学試験制度

種別	試験科目	募集人員
一般入学試験 (A方式)	「人文・社会科学」または「自然科学」のいずれか1科目、 総合教養 (リスニング含む)、英語 (リスニング含む)	290
一般入学試験 (B方式)	第1次選考(総合教養、英語の外部試験* ¹)、 第2次選考(面接)	10
ICU特別入学選考 (AO入試)	第1次選考 (書類選考 (小論文または自然科学分野の自主研究成 果要約)、外部の英語試験結果* ² を含む)、第2次選考 (面接)	45
転編入学制度	一般入学試験と同じ	若干名
社会人特別入学試験	第1次選考 (総合教養、外部の英語試験結果* ³)、 第2次選考 (面接)	若干名
指定校推薦入学試験	一般入学試験と同じ、小論文、面接	180
ユニヴァーサル・アドミッションズ		以下の3つの 総合で90人
4月入学帰国生入学試験	外部の英語試験結果・4、小論文 (日本語)、 面接 (グループディスカッション)	
4月/9月入学書類選考	書類選考 (SATなどの標準試験結果)	
4月/9月入学国際学生	第1次選考 (日本留学試験の結果など)、第2次選考 (日本語・英語による面接)	

- *1 IELTS、TOEFL
- *² IELTS、TOEFL、TOEIC、英検、Cambridge English
- *3 IELTS、TOEFL、TOEIC
- *4 IELTS、TOEFL、Cambridge English

毎年コツコツ生前贈与。その面倒を簡単に。

暦年贈与サポート信託



特長1

ご親族さまへの 「生前贈与」に安心して ご利用いただけます

本商品をご利用いただくことで暦年 課税制度の条件を満たす贈与を簡単 に行うことができます。 特長2

毎年の贈与に関する お手続きを 当社がサポートします

当社から毎年一定の時期に「贈与契約書」や「贈与手続きに関するご案内」をお送りしますので、贈与の機会を逸することなく贈与していただけます。

特長3

贈与に関する報告書を 送付します

報告書には、本商品を利用して贈与された金額や贈与を受けた方を記載しますので、次回以降の贈与をお考えいただく際にお役立ていただけます。

「暦年贈与サポート信託」は暦年課税制度を利用した 贈与手続きを当社がサポートする商品です。

- ●贈与を受ける方は、贈与をする方の3親等以内の日本国内居住のご親族さまで、当社に普通預金□座があるお客さまになります。
- ●円貨でも外貨でも贈与が可能です。外貨預金には、外国 為替相場の変動により元本割れリスクがある他、取引時 には為替手数料がかかります。

三井住友信託銀行株式会社 2018年12月1日現在

X

三井住友信託銀行

お問い合わせ・資料のご請求は

0120-181-536

受付時間 平日9:00~17:00(土・日・祝日および 12/31~1/3はご利用いただけません)

暦年贈与サポート信託

検索

改めて、いまのICUの試験を詳しくみてみよう。ICUへ入学するための枠は実は多岐にわたる。 さまざまな選抜方法があることの理由についてICUアドミッションズ・センター長の森島泰則教授(心理学)に聞いた。

文・写真:望月厚志(本誌)

教養学士の学士号を目指す学生のため の選考の概要を表1(2ページ)に示した。 森島教授は、さまざまな選抜方法があるこ との理由について、「アドミッション・ポ リシーに示した4つの資質を、ダイバーシ ティ(多様性)をもって選考するための方 策」だと説明する。4つの資質とは表2に 示したもの。アドミッション・ポリシーの 詳細については大学のWebサイトを参照 してほしい。

表2 ICUが求める学生の資質

(アドミッション・ポリシーより)

- 1. 文系・理系にとらわれない広い領域への 知的好奇心と創造力
- 2 的確な判断力と論理的で批判的な思考力
- 3. 多様な文化との対話ができるグローバルな コミュニケーション能力
- 4. 主体的に問題を発見し、果敢に問題を解決 してゆく強靱な精神力と実行力

入学試験の科目も大きく変わってきてい る。「私の時は全員に面接試験があった」 「2日間にわたって入試が行われ、人文科 学、社会科学、自然科学の3つの論文科目 が必須だった」「一般学習能力考査という 知能テストのような科目があった」などと 回想する人も多いだろう。現在の最も募集 人員が多い「一般入学試験」枠の試験科目 は①「『人文・社会科学』または『自然科 学』」(80分)、②総合教養(リスニング含 む、80分)、③英語(リスニング含む、90 分) — の3科目だ。

ICU名物とも言えた一般学習能力考査は 「リベラルアーツ学習適正」(LARA)へ と変化したあと、2015年に「総合教養」

(ATLAS=Aptitude Test for Liberal ArtS. 文系・理系にとらわれないリベラルアーツ の「世界地図=アトラス」をプレビューす ることによって、ICUの教育への適性を判 断する)という新しい科目に取って代わっ た。しかし、総合教養もユニークだ。最初 に受験者全員が15分間「講義を聴く」と いう、いわば日本語のリスニングを含んだ 考査なのだ。講義を聴く入試は日本で唯一 かも知れない。受験生は配られた問題はみ ることができないが、メモをとることはで きる。講義のテーマはアカデミックなトピ ックが選ばれており、講義内容に関する学 際的質問と、講義に対して人文科学、社会 科学、自然科学の視点から書かれた論述な どを読み、それらに関する設問に解答する。 (過去の問題は大学Webサイトから閲覧可 能: https://www.icu.ac.jp/admissions/ undergraduate/exam/general/)。

入試で問われる 受験生の資質とは?

森島教授は「入学試験で大学が見極めよ うとしている資質は長年にわたり終始一貫 している」と強調する。

「一般大学のように高校までに身につけ た知識や学力をみるのではなく、大学に入 学した後に通用する『講義を聴いて、そこ から学習する』学習能力、思考力、コミュ ニケーション能力、粘り強さなどの資質 をみるという視点です。それはliberal arts readiness aptitude (リベラルアーツを学 習するのに適した能力)と言い換えてもい いでしょう」

ICUの入学試験は、特別入学選考(AO



森島泰則教授・ICUアドミッションズ・センター長は「入学試験で大学が見極めようとしている資質は長年にわたり終始 一貫している」と強調する。

入試)が設けられたり、一時「大学入試セ ンター試験」枠が設けられまた廃止された り、いろいろと変遷があった。しかし、文 系・理系にとらわれないリベラルアーツの 学びにふさわしい学生を選抜するという点 では献学以来一貫しているのだ。

丁寧な選考で ICUに合った学生を評価

昔に比べてかなり「簡素化」されたもの の、他校とあえて異なるスタイルを守り続 けるICUの入試の特色のひとつは、「ICU に合った学生かどうか」を丁寧に見極めよ うとすることだろう。

たとえばAO入試。ここ数年の志願者は 200人前後。書類選考後に面接で「ペーパ ーテストでは測れない、積極性や社会的関

TEL: 0422.33.3530 MAIL: info@icu-service.com

心、コミュニケーション能力、論理性など をみる」(森島教授)のだが、Aカテゴリ - 受験者はグループディスカッション、B カテゴリー受験者は自然科学分野の自主研 究や理科課題研究についてのプレゼンテー ションを行う。

また、ユニヴァーサル・アドミッション ズが始まったことで、より多様な言語背景、 教育背景をもった学生が増えていく。この ため、森島教授をはじめ教員とスタッフが チームを組んで、香港、シンガポール、ア メリカ西海岸、欧州など海外の地域でも積 極的に大学説明会などを行っているという。



○保険代理店事業 ○子供向け生涯学習講座 (ICU ジュニア キャンパス・キャンプ、ICU キッズ・カレッジ) ○不動産斡旋 ○イベントサポート



ICUの多様な学生① ICUHS出身者

入試で多様な生徒に出会いたい—— 40年間変わらないICUHSのメッセージ

ICUには、キャンパスに隣接する国際基督教大学高等学校(ICUHS)から進学してきた学生も多い。
2014年に文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール」に指定され、この数年で志願者数を伸ばしているICUHSは現在、どのような入試を実施し、その背景にはどんな狙いがあるのか。また、ICU入学へのルートはどのようになっているのか。副校長で帰国生徒教育センター長も兼ねる中嶌裕一先生に話を聞いた。
文・写真: 星川菜穂子(木誌)

ICUが開学したのが1953年、それから25年後の1978年、帰国生の受け入れを主目的として開校したICUHSは2018年で40周年を迎えた。1学年の定員240人のうち、帰国生は160人と3分の2を占める(一般生が80人)。帰国生を選考する入試は「推薦入試」「書類選考入試」「学力試験入試」の3つ。なお、帰国生は現地校や日本人学校で区別されず、保護者とともに海外在留1年半以上、帰国後5年以内の生徒を対象とする。「推薦入試」と「書類選考入試」はよく似ていて、書類審査と5~10分の面接で合否が決定し、このふたつで合格者は150人にのぼる。

教員たちが丁寧に 読み解く〈書類審査〉

書類審査の比重がとても大きいことがわかるが、中嶌先生は「教員たちは海外の書類や成績を見る目が肥えている」と話す。そこには40年間で6000人以上の帰国生を受け入れてきたパイオニア校ならではの蓄積がある。毎年400~500通の書類を複数の教員が目を通し、生徒のグレードや到達点を見るだけでなく、その生徒が何歳の

ときにどの国でどういう言語で勉強をスタートし、何年間でどんな困難を経て成績を 伸ばしてきたのかというプロセスを、想像 力を働かせながら丁寧に読み解いていくと いう。

中嶌先生が「ICUHSでは『学校が望む生徒像』を打ち出していない」と語っていたのが印象的だ。どの国のどんな学校で学ぶかということは子供がコントロールできることではないから、「理想の帰国生」という色眼鏡で見ず、あらゆる帰国生に門戸を開くことが、40年間変わらないICUHSの理念である。

受験勉強より 海外で豊かな経験を

ICUHS入学を志す帰国生には「海外生活を楽しんでほしい」と中嶌先生は強調する。「帰国後の進学のことばかり考えずに、現地でいろいろなことを注意深く見たり経験してきてほしいですね。その経験が日本に戻ってからマイノリティの視点で日本を眺めるのに役立つはずだから。挫折や困難を乗り越えて自分の頭でしっかり考えることのできる生徒、端的に言うと、それが

ICUHSの求める学生なのかもしれません」。 こうした想いは、帰国生ならびに一般生が 受ける「学力試験入試」のテスト問題にも くっきりと表れている。

生まれて初めて 見る試験問題

英語・国語・数学の3教科の試験に共通しているのは、問題のベースとなる文章が一見して戸惑うほど長いことだ。一問一答式の問題は皆無に等しい。長文を熟読し、噛みくだいて理解しなければ回答することができない。特に数学は顕著で、ほとんどの受験生にとって未知の数学的コンセプトをもとに問題が展開していく。中嶌先生は「教育を受けるのが困難な国や環境にいる帰国生にも公平に、誰もが生まれて初めて見るような問題作りをしている」という。そこでは暗記や詰め込み式の受験テクニックは意味をなさず、読んで考えることのできる総合力が問われる。

ICUHSへの志願者数はこの3年間、毎年約1000人前後で推移している。卒業生の活躍もあり、ICUへの推薦枠は徐々に拡大し、現在は定員80人。高校2・3年時

帰国生がマジョリティを占めるが、中嶌 先生は「ICUHSを刺激してくれている のは、80人の一般生と、20~30人の "隠れ帰国"(一般入試で入学したが、海 外生活の経験を持つ生徒)。あえてマイ ノリティの立場をとりにくる生徒はポテ ンシャルが高い」と評価する。





ICUHS正面入口

の成績やSATスコア(帰国生)によって決まる。校内でICU進学の人気は高いと中嶌先生は語る。「ICUへ推薦で進むのはクラスでも牽引役となる生徒。秋に推薦合格が決まったあとも、自らの関心に沿った勉強や読書、課外活動などに熱心です」。ICUのスタートupプログラムや冬学期授業参観なども用意されている。

ICUHS 公式サイト http://icu-h.ed.jp ICUHS 公式Facebook www.facebook.com/icuhs.hodgepodge/

ICUの多様な学生② 9月入学書類選考

True Liberal Arts

Text: Natsuko Kawahara Moriya (40 ID96)

"I don't want to go to a typical Japanese college" was my main concern when I applied to ICU back in '91. Born and raised in Japan, I had trouble even getting by the day at the local junior high school when I moved to Greenwich, CT at the tender age of 14. All the more reason why when finally comfortable in the local school, culture and language, I was not ready to accept that going to a college in Japan was my only option

ICU was one of few schools in Japan at the time that used the same standardized tests in the US as requirements for applying. Knowing very little about the ICU history, program, and/or the campus, I do remember that my mother tried to convince me that it was a true Liberal Arts school just as in the US. Having attended Japanese public schools, I had no benchmark to compare what it would've been like to apply in a Japanese system. In considering where to apply, non-negotiable points were, would the school accept the US standardized test result as a fruit of my hard work and would I have access to a wide range of academic programs as in a Liberal Arts school.

I applied to and got into a few US schools but for family reasons had to move back to Japan after high school. ICU was my first choice in Japan for

above reasons. Once started, ICU had a systematic approach to September students that grouped them with OYR students. That helped me personally to soften potential cultural gap of the back-in-Japan experience. I did not enroll in any Japanese language courses but have heard from those who had that they provided opportunities to self-reflect on their root as Japanese while polishing up on their language skills. I envied the close-knit togetherness of "section mates" for those attending English language programs but in hindsight, September student community itself was a welcoming group that shared comradeship.

I used to wonder as a student why ICU alumni was so active even after so many years. Now that more years have passed since graduation myself than I care to count, I understand that the rich student body diversity, wide range of programs and the sheer experience of academic challenges that define a true Liberal Arts school that ICU is, not only shape your foundation as an adult but help you throughout your life after school. The appreciation lasts much longer than the hours that might go into preparing an application. I hope that the tradition will linger on as true Liberal Arts school.



地方での出張オープンキャンパスの様子。全体説明と個別相談が行われた。(提供:ICUアドミッションズ・センター

ICUの多様な学生③ 多様な地域出身者

全国主要都市で開催される「進学相談会」しかし、地域多様性の維持は課題か

ICUは全国主要都市で開催される「進学相談会」(単独ではなく、他大学と合同) に参加し、首都圏外からも広く学生を求めている。 しかし、ここ数年、各地の高校出身者は減少傾向にある。その背景にある理由を分析する。 文: 新村敏雄 (本誌)

合格者に占める首都圏出身者と地方出身 者の割合が、年々開いている。グラフは、 全合格者数に対する東京・神奈川・埼玉・ 千葉の4都県の合格者数の比率と、東北6 県、日本海側6県(新潟、富山、石川、福 井、鳥取、島根)、大阪・京都・兵庫、四 国4県、九州7県(26県)の比率の合計を 比較している。関西3県はもともと地元志 向が強い傾向があり、人口の割にICU入学 者が少ないため入れてみた。関西3県を含 む26県からの合格者の比率は、2000年前 後に3割程度だったのが、直近では15%に 届かない年もある。

ICU入学者がゼロだった県は、99年から08年までの10年間では16県、回数にして28回だったが、09年から18年の10年間では23県、61回に増えている。「地域的多様性」は低下傾向にある、と言えるのではないか。それが学生に何か有意性のある影響をもたらすのか否かはすぐにはわからないが。

背景として考えられるのは、地方から子 どもを東京に送り出す経済的負担が少しず つ重くなってきているため、どうしても地 元志向が強まっているのではないか、とい うことだ。地方の国立大なども、そうした 状況をみて地元の学生に対する勧誘に力を 入れているという。

「そうした負担軽減の手段として奨学金はありますが、あまりお金のことだけを前面に出して露骨にアピールするのも……」と森島教授は言う。かと言って、ニーズがある学生に情報が届かず受験をあきらめられるのも困る、悩ましい問題でもある。

『ユニーク』な試験の功罪?

経済的要因は一朝一夕には解決しないにしても、リーチを広げ続けることは大学は意識している。Webサイトでも公表しているとおり、ICUは全国主要都市で開催される「進学相談会」(単独ではなく、他大学と合同)に参加している。2018年度はのべ37回。また、大阪や名古屋での出てはなって、大阪や名古屋での出て関権する場合もある。ただ、気になるのは「各地のトップクラス進学校で進路指導の先生方が必ずしも生徒にICUを薦めてれるわけではない」ということだ。「特殊な入試」というイメージが強いのか、国立や早慶向けに受験準備している生徒には、塾

首都圏と地方の合格者比率の推移



や進路指導で受験を薦められていないという指摘がある。むしろ2番手、3番手校で「知識偏重教育と一線を画す」教育方針を掲げている学校のほうが、生徒にICU受験を薦めているという。多いのは前者だそうだが。

さらに、推薦校はかつてはキリスト教学校教育同盟の加盟校とICU高校だけだったが、最近はそれ以外に大学が指定している学校からも受け入れている。どこの高校か、何人の枠があるのか、は公表していないが、推薦の合格者数は2000年代ごろは50人程度だったが、ここ数年は200人近くになっている。

PRも力を入れている。三鷹キャンパスでは、2018年の7、8月で合計3回オープンキャンパスを開催した。17年には、過去2番目に多い(16年比10%増)7,000名を超える参加者があったという。また、大阪、福岡、名古屋の3都市で開催する出張オープンキャンパスへの参加者は350名(17年実績、同21%増)を超えた。進学相談会、高校訪問、出張授業なども地域、高校を精査しつつ、展開しているという。

ICUの魅力を知ってもらうため 卒業生ができることは

では、もし試験の特殊性が誤解されたり 経済全体の傾向でICUが敬遠されているの だとしたら、ICUの同窓生は何ができるだ ろうか。さる大学関係者によれば、新入生 にICUの志望理由を聞くと、圧倒的に「家 族、知人、先生から『ICUは素晴らしい』 と聞いて、自分でキャンパスを見にきて決めた」という声が多いそうだ。別の同窓会役職経験者は「海外で活躍していた叔父の勧めがなかったらICUの事は知らなかったと思う」と自身の経験を語る。ロコミは強力な「勧誘ツール」なのだ。Uターンしている卒業生ならば、機会を作って母校をたずね、ICUをPRすることも可能だろうし、ピースベルなどの奨学金への寄付も後輩に手を差し伸べることになる。

最後に、インタビューで印象に残った言葉をご紹介したい。一般でも通常のペーパーテストと面接重視の2方式があり、さらにAO入試、推薦、ユニヴァーサル・アド

ミッションズなど、異なる選考で入ってきた学生の間で、追跡調査をしたら何か傾向は見えるのかを森島教授におたずねしたところ、「大事なのは入学後の多彩な学びであり、傾向を見ようとして成績などの数字的な尺度ばかりに注目すると見誤るかもしれない」とご回答いただいた。「(難関といわれる)大学に合格しただけで、さらには卒業したばかりのタイミングでひとりひとりを評価することはできない。社会人になるなどしてさらに10年、20年たってからという長期的視点が必要でしょう」。そう、入試はひとつの通過点にすぎない。大学の評価もしかり。



ウェデイング・レセプション承ります

ご予算に合わせ、お料理のご注文に応じます。 同期会・サークルのお集まりなどのケータリングも、 ぜひご相談・お問い合わせください。

東京ケータリング(株) ICU食堂

TEL&FAX 0422-33-3519 携帯 080-3117-3203 e-mail: tck.icu-shokudou@chorus.ocn.ne.jp

小特集

世界の主婦から

肩書きにとらわれず日々頑張っている卒業生、

中でも家族のサポート役としても日々奮闘している「主婦(夫)」の方々に 登場していただきたいという編集部の声から本企画が生まれました。

世界各地の主婦の方々に、これまでの道のりや現地での生活について伺いました。

取材: 榎原望美(本誌)、安楽由紀子(本誌、堀江 幸さん分)

四 鈴木涼子

(53 ID09) スタンフォード大学院卒業後、教育関連企業を経てベルー に移住。現在はベルーにて教育コンサルタントとして働いている。

ペルーで教育コンサルタントに

スタンフォードの大学院でペルー人のパートナーと出会いました。日本でのキャリアを中断することには不安もありましたが、元々途上国の教育に貢献したいと思っていたので、ペルーでパートナーとともに生活を築くことはとても楽しみでした。

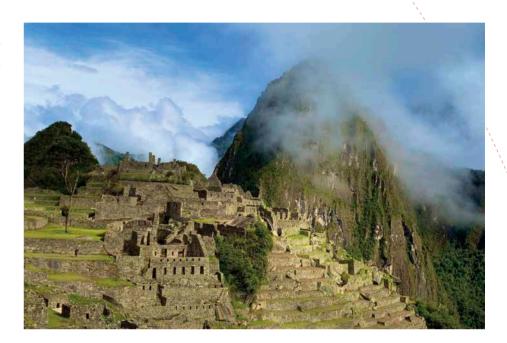
2017年にペルーに移住してから約1年



間、仕事に就くまでの期間は焦燥感もありましたが、その間はスペイン語の勉強やブログでの情報発信に努めていました。現在はペルーで教育コンサルタントとして仕事をしており毎日が充実しています。とはいっても途上国なので不便なことも多々ありますが、私の性格ゆえそれらも含めて楽しめています。

一番の財産は 人生の楽しみを知れたこと

ペルーに来て、人生の楽しみ方を知れたことは私にとって一番の財産です。日本は住みやすく、物に溢れ、豊かではありますが、「生き方」に対する多様性や寛容さは少ないと感じます。ペルーは物や娯楽は少ないですが、その分、家族やパートナーと過ごす時間の使い方や楽しみ方が上手だなと感じています。家族愛や音楽や踊りに囲まれた生活が私の肌に合っているようです。日本やアメリカでは知ることのできなかった価値観や楽しみ方や、途上国で生まれ育った方々の視点を直に知ることができたのも私にとって大きな収穫です。



また、ペルーにおいて「女性だから」というハードルは感じません。シングルマザーや婚外子が多いのも事実ですが、それに対する偏見もなく、家族・親戚・友人ぐるみで子育てをし、助け合い、生活しています。ナニー文化もあるので、キャリアパーソンはナニーを雇い、男性だから女性だか

らという垣根なく仕事をしています。

ICUで得た「学びの楽しさ」は、私の中で一番の収穫です。また、ペルーへ訪れるICU卒業生から連絡をいただくこともあり、ペルーにいながら人脈が広がるのもICUならではと思っています。

(ブログ https://japotina.com)

プラジル 髙橋真由子

(53 ID09) 大学卒業後、公認会計士として監査法人勤務を経て、 ブラジル人の夫と結婚しブラジルへ移住。一児の女の子のママ。

ブラジルでの挑戦と発見

ブラジル人のパートナーとは高校時代に 留学機関を通じて知り合い、社会人になっ て再会し結婚を決めました。それまでに葛 藤はありましたが、どの国で生きていくか よりも誰と生きていくかの方が大事だなと 思い、移住する決意をしました。



移住後サンパウロで出産をしました。初めての妊娠・出産を海外ですることに多少の不安はあったものの、結果的にブラジル人の優しさに支えられて思い出深い経験となりました。ブラジルでは「妊婦・赤ちゃん連れ」が「高齢・障害のある方」と同様に扱われるよう法令で決まっています。レジには優先レーンがありますし、レストランでも優先的に通してもらえるので、気持ちよく外出できます。これらは、日本にも導入されればいいのにと思うブラジルならではの仕組みです。

悩ましい点として、教育費の高さがあります。ブラジルは国としての教育への投資が非常に少なく、公立校での教育水準が非常に低いです。教育問題については、ブラジルが国としてしっかり考えるべき大きな問題だと思う一方で、日本の教育水準の高さを改めて感じ、感謝するきっかけとなっています。

ブラジル生活で生きる 「critical thinking」

ブラジルで生活する中で、ICUで学んだ

「critical thinking」は私の考え方のベースになっていると感じます。海外での生活は日本の文化や思想とはまったく違うものに出会うので、それらをどう自分で咀嚼して受け止めるか、大きく悩むこともありますが、自分には何が大事か、日本人としての自分の考えがそもそも正しいのか、客観的・批判的に考える癖がついている気がし

* +

また、ブラジルに来ても前向きに馴染めているのは、ICUの国際的な面や他者との違いを尊重する風習に慣れているからこそだと感じることも多いです。「critical thinking」をしながらも、オープンな気持ちで新しいものにチャレンジする精神はICUで培ったものだと思います。



化 関 恵里沙

(51 ID07) 東京大学大学院卒業後、教育関係の仕事を経て 2014 年からアメリカへ移住。2017 年から夫の転勤によりご自身の第二の故郷でもあるインドのムンバイに駐在。一児の男の子のママ。

"会社員"から"自分"へ

ICU在学中に友人を介して知り合った夫と、修士在学中に付き合い始め2014年にアメリカに移住しました。2017年からインド駐在になり、現在はムンバイのバンドラという地域に住んでいます。バンドラは私の母が生まれ育った地域でもあり、そん

なバンドラを「地元」と言えること、そし て私の大好きなバンドラを夫と息子と共有 できることは大きな財産です。

夫とは、"家庭を築くにあたりどちらかが家庭運営と子育てに専念する"という共通の価値観があり、夫の方が外交官になるというキャリアビジョンを持っていたので、 夫が家計を支えて私が家庭と子育てに専念



するということを決めました。

会社員時代、私は生理前症候群や月経痛に悩まされ常にフル稼働で働くことに困難を感じていました。また大学院で「ハーフ」の研究をしていた私にとって会社員生活は本当にやりたいこととは少しかけ離れていたのもあり、夫の転勤で主婦になることは「キャリアを中断」というよりも「"会社員"から"自分"へと解放された」とは「キャリアを中断」というよりも「"会社員"から"自分"へと解放された」とのでいます。自分の研究やブログ、料理などに時間を費やせ、子でもと向き合う時間もとれるので仕事をしていた頃より今の方が幸せです。とはいえ子育をしていると自由に使える時間に限りがあるので、仕事に専念できる夫が羨ましくなったりもします。

ムンバイの子育てと今後の夢

ムンバイ生活では子育て環境に苦労しています。歩道はガタガタ、横断歩道もほとんどない環境なのでベビーカーが使えません。また大気汚染もひどくあまり外遊びをさせてあげられないので、この空気を吸わせているということが子どもに申し訳ないと罪悪感に苛まれています。逆に良かった

ことは、インドの人がとても子どもに優しいこと。飛行機やレストランで大泣きしていても、嫌な顔をするどころか、あやそうとしてくれる人が多いです。

今は子育でに手いっぱいで、新しいことに挑戦したくてもなかなか難しく、もどかしい気持ちもありますが、料理が好きなので駐在各地の料理を学んで、いつかは自分の料理本を出したいと目論んでいます。

(ブログ http://global-familia.com/)



オランダ 堀江 幸

(39 ID95) 卒業後電子機器メーカーに勤務。結婚後に夫がオランダに単身赴任。2 年後に退職し 3 年間オランダに帯同。 帰国後再就職し、長女を出産。夫のオランダ就職、移住に伴い、2010 年から再びオランダ在住。

家族とともに……移住の決断

在学中に知り合った夫と結婚。夫がオランダでの海外赴任を経て、日本での生活を畳んで移住することを希望し悩みましたが、オランダは家族第一のお国柄、私も自分のキャリアは中断してしまうが、夫の仕事の充実度や家族時間とのバランスは確実に向

上するだろう、そしてオランダの子どもたちののびのびした様子を思い出し、我が子もそんな良い環境で育てたいと考え賛成しました。

9歳の娘と6歳の息子は現地の普通校に 通っています。「すべての子どもにとって 学校は楽しく挑戦できる場所に」という考 えに基づき、各クラスでは個人の進捗度に 応じた難度・量の異なるワークブックに取り組みます。進んでいる子には更なるチャレンジが用意され、その間に遅れ気味の子には先生が手助けをし理解定着を図れるわけです。飛び級も一学年下げることも珍しくなく、本人も周りもそれが一番いいと受け入れ特別視されることはありません。我が子たちも毎日楽しく通っています。

オランダの実家ができた

オランダでは英語で生活できてしまうのですが、子どもたちの会話を理解するために私もオランダ語を継続して習っています。オランダの方はみんな英語が堪能で、どこでも大抵英語が通じてしまうとはいえ、やはり現地の言葉で挨拶や短い会話を交わすことで相手との距離を縮められると感じています。

オランダでのすべての経験が貴重なものですが、中でもここだからこそ巡り会えた友人たちとの家族のような助け合える関係、ちょうど親世代のオランダ人友人ご夫婦宅にまるで実家のように迎え入れていただき、子どもたちにとってもオランダのジジババ

と呼べる関係を持てていることが、掛け替えのない財産だと思っています。これらの関係に支えられ励まされてオランダ生活を続けられているのだと感謝しています。

子どもの手が離れてきたので、これから 自分自身、社会との繋がりを作っていかな くてはと思っています。それが、仕事なの か、ボランティアなのかはまだ分かりませ ん。何をするにしても、外国人の受け入れ に比較的寛容なオランダへの感謝と今後も そうあってほしいとの願いから、オランダ コミュニティと、ここに暮らす日本人を含 む外国人との架け橋となる行動を常に心が けたいと思っています。



邼 榎原望美

(53 ID09) IT 企業勤務を経て夫の転勤でインドネシアに 4 年間駐在。 2017 年より本帰国し家族のサポートに邁進中。

~取材を終えて~

私自身、海外駐在を終えて帰国したばかりということもあり、似た立場の方々にお話を伺いたいと思い取材を担当した。取材をお願いしたところ有り難い言葉も頂戴した。「アラムナイニュースは第一線で働いている人が注目されがちで、ICU卒なのに主婦というのは肩身が狭い思いをしていたのでこういう特集をしてもらえるのは嬉し

い」と。卒業生の中でもパートナーの都合などで職を離れ、主婦(夫)として家族のサポートに邁進している方も多くいらっしゃると思う。卒業生の素晴らしい活躍に尊敬の念を抱く一方で、大それた肩書きがないことに少々焦りを感じていたのは私だけではなかったことにも安堵した。働き方改革が進む一方で、現実はまだまだ道半ば。我が家も小さい娘が2人いるが、会食に出張にと忙しい夫は平日の育児参加は難しく、

いわゆるワンオペ育児真っ只中。何らかの 形で社会に貢献したいと思いながらも、も どかしい気持ちと少々の焦りを感じていた が、今回の取材を通して皆さんがそれぞれ 選んだ道で、家族愛に満ちた生活を送られ ていることや、新しいことに挑戦している お話を伺えてとても嬉しかった。また皆さ んの中で、ICUでの学びが様々な形で生き ていることも嬉しかった。

「人生100年時代」と言われるほど、想

像以上に人生は長くなりそうだ。働く期間があれば、学び直す期間もあり、サポート役に徹する期間があったりと、その時々に合わせてしなやかに自分の立ち位置を変えていけばいい。まずは目の前の人を幸せな気持ちで満たすことを通じて、社会に貢献していきたいと感じた。ご協力いただいた皆様と、どこにいてもICU生としての誇りを感じさせてくれる母校に改めて感謝したい

The ICU Festival 2018

同窓会企画 開催報告

2018年10月20日(土)、21日(日)にICU祭が開催された。

会期中、同窓会企画イベントとして、筑摩書房の元社長・菊池明郎氏(14)を招いて「DAY受賞者トーク」を開催。

また、大学・同窓会共催「ホームカミング」では、「ICUキャンパスの植物と生き物たち」として動植物の宝庫でもあるキャンパスの自然観察を行った。

アラムナイラウンジでは恒例の「アラムナイカフェ」やICUグッズの販売、テント企画としては、(株)Health Education代表取締役で

ファミリーカイロプラクティック三鷹院院長の佃 隆氏(44 ID00)による「チャリティ整体」が行われた。その模様をお伝えする。

DAY受賞者トーク・ 菊池明郎さん(14)

文:木越純(27 ID83)

秋晴れに恵まれた2018年10月21日の 午後、アラムナイハウス・ラウンジに、同 年3月の同窓会桜まつりでDAY賞を受賞さ れた菊池明郎さん(14)をお迎えし、「筑 摩書房の社長体験」と題してお話を伺いま した。

菊池さんはICUを1971年にご卒業後、 「好きな本に囲まれて過ごしたい」と文学 全集で良く知られた老舗出版社・筑摩書房 に入社されました。ところが出版不況が 続くなか、1978年に筑摩書房は「会社更 生法」を申請し事実上倒産してしまいま す。そんな逆境を前にして、菊池さんは若 手ながら営業に力を振るい、次々と新しい アイデアを出し、会社再建に貢献されま す。書店からの販売データを分析して販売

計画を策定する手法の導入や、それまでの 文学全集中心から新書・文庫の創刊などで す。1999年には成り手のない社長を引き 受けて、更なる改革に邁進します。就任1 年後には「金持ち父さん、貧乏父さん」を 発行、これがミリオンセラーとなり経営改 善に貢献します。最終的には負債を全額返 済し、筑摩書房の再建を果たされます。

菊池社長のスタイルはあくまで率先躬行、 自ら先に立って道を切り開いてゆくリーダ ーです。その時々の状況判断で臨機応変に 対応してきたという「朝令暮改型」組織論 も、なるほどと思わせられました。その社 長業も二代置いて2018年6月からは同じ くICU出身の喜入冬子さん(28 ID84) が 引き継がれています。筑摩書房はじまって



以来の女性社長です。

"ICUで身につけたものは"との問いに、 「デモクラシー」の大切さを学んだこと、 「国際感覚」を身につけたこと、「コミュニ ケーション」の仕方が身に付いたこと、と

お答えいただきました。これらは確実にお 仕事の役に立ったとのことです。

熱く語られる中にも温かなお人柄が偲ば れる今回の菊池さんのお話に、改めて元気 をいただいた気がします。

アラムナイラウンジでの催し

文: 讃井暢子 (22 ID78)

ICU祭の2日間、アラムナイラウンジで は、DAYトークの他にも、さまざまなイ ベントが開催されました。

恒例のアラムナイカフェでは、ICU祭に 訪れる同窓生の方々に寛いだ時間を過ごし ていただこうと飲み物を中心に提供。コー ヒーやソフトドリンク、ドーナツなどの他、 ICUワイン「Musashino Cross」を召し上 がる方も多く、大学祭の中でここだけは 少々オトナの雰囲気。窓外の木の葉のそよ

ぎや木漏れ日を楽しみながら、ゆっくりと 過ごされる方が多く見られました。

ICUグッズ販売のコーナーは、お目当て の品を求めにいらした卒業生やクマのぬい ぐるみを大事そうに抱える受験生とおぼし き親子などでにぎわいました。Cadotさん のコーナーではカフェで試飲したICUワイ ンを早速求めるお客様も。

桜リサイクルプロジェクトの展示に、じ っと見入って「重要な取り組みですよね」







と感心されていた方もありました。新製品 のカッティングボードは大好評ですぐに売 り切れ、予約注文も入りました。募金コー ナーも設けられ、新体育施設支援、シーベ リーチャペル募金、泰山荘改修支援、キャ ンパスの自然環境保全のためなどに、総 額2万4500円のご寄付をいただきました。

ご来場の皆様のご協力に感謝申し上げます。 1日目はホームカミングのキャンパス散 歩に参加した家族連れが拾ったどんぐり持 参でにぎやかに訪れたり、2日目はDAYト ークに多数の卒業生が耳を傾けたり、アラ ムナイラウンジが様々な表情を見せた2日 間となりました。



吉住歯科矯正クリニック

お問い合わせ・ご相談、初回無料カウンセリングのご予約 (0422-48-3365

1976 年に吉祥寺で初めての矯正専門クリニックとして開業し、4000人を超える患者さまの笑顔に携わってきましたが、2016 年に 大規模リニューアルを行い、予防歯科と一般歯科も行うことになりました。キレイな歯ならびを軸にお口全体の予防管理をする、 日本では新しいタイプのクリニックです。院長はICU卒業後、歯科大学に入り直し歯科医師となり、日本矯正歯科学会の認定医を取得。 今ではたくさんのICU生に通っていただいております。国際社会で活躍する上では「キレイな歯ならび」は必須条件ともいえます。 欧米では「キレイな歯ならび」が社会的ステータスであるとも言われていますが、当クリニックでは見た目だけでなく、正しい機能的 な噛み合わせを目標にしています。機能的な噛み合わせは、日常生活において食事が食べやすくなったり喋りやすくなるばかりでなく、 むし歯は歯周病の予防にもなり、結果として審美性や QOL (Quality of Life) の向上につながります。

「キレイな歯ならび」で、これから国際社会で活躍するであろう ICU 生ならびにそのご家族の一助になれれば光栄です。 歯ならびや歯のお悩みは是非当クリニックにご相談ください!(むし歯や検診のご予約も承っております)



副院長 吉住 未央子 東京歯科大学歯学部卒業 同大学病院臨床研修課程修了 同大学病院歯周病学講座卒後 研修課程修了 日本歯周病学会認定医



院長吉住 淳 国際基督教大学教養学部卒業 (人文科学科、04セプテン) 東京歯科大学歯学部卒業 同大学病院臨床研修課程修了 同大学歯科矯正学講座卒後

日本矯正歯科学会認定医

研修課程修了

|診療科目 歯科、小児歯科、矯正歯科、歯科□腔外科

月・火・金: 11:00 ~ 14:00、15:30 ~ 20:00 一診療時間 水・土・祝: 10:00~13:00、14:30~19:00

平日夜8時まで、 吉住歯科 土日祝日も診療してます

検索

ホームカミング:ICUキャンパスの植物と生き物たち

文:新村敏雄(本誌)

ホームカミングはICU祭初日の2018年 10月20日。朝からすっきりした青空が広 がり、「ICUキャンパスの植物と生き物た ち」という自然観察をテーマにしたイベン トには最高の陽気になりました。

事前申し込みの有料イベントでしたが、 前日までには、想定していた約90人の定 員に達し(大人62人、子どもと乳幼児30 人)、同窓会、大学職員、先生方と現役学 生の合同準備チームはフル回転。雨天にも 備えてキャンパスから集めた多種多様な落 ち葉や木の実、周辺で命を落とした小動物 の毛皮まで、充実の展示物で皆様をお迎え しました。

午前はダイアログハウス国際会議室で風 間晴子名誉教授と、動物生態学・昆虫生理 学講師の上遠岳彦先生による、キャンパス の植物と生き物たちのご紹介。風間先生か らは、キャンパスは1000種あまりの植物 が生息する豊かな自然に恵まれているもの の、さまざまな要因により姿を消した種も あるとのお話があり、上遠先生からはアナ グマやタヌキのキャンパスでの暮らしぶり を動画もまじえて見せていただきました。

興味深いお話で会場の参加者の期待が最 高潮に高まったところで、いよいよ野外観 察へ。「アナグマ」「オオタカ」「オオムラ サキ」「レバノンスギ」の4グループに分 かれ、両先生を含むリーダーの後について、 いざ出発です。

私(筆者)がシェパード役だった「アナ グマ」グループは上遠先生がメインリーダ

一。最年少はゼロ歳から、卒業生がご子息 とご両親の3世代でお見えのグループまで、 幅広い年齢構成です。ダイアログハウスの 裏口を出て歩き始めた直後、寮の窓に巨大 なカマキリを発見! プランではまずN館 裏にあるタヌキのファミリーの「共同トイ レ」にあたる「ためフン」を観察に行く予 定でしたが、素通りするにはあまりにもっ たいない、植物や生き物たちの生態。リー ダーの解説でさらに好奇心がくすぐられ、 目的地に到着したのは予定時間を半分過ぎ たころ。しかし1時から食堂で始まる、三 **噟産野菜を使ったカレーのランチに遅れる** わけにはいきません。帰路でも遭遇する 数々の「誘惑」のいくつかを振り切り、無

昼食後は「これからどうする? ICUの 自然」と題したパネルディスカッション。 豊かで貴重なキャンパスの自然環境は、何 も手を打たなければ、動植物の外来種の拡 大、研究フィールドへの人間の立ち入り、

継続性を欠いた管理などの問題が拡大する リスクとも隣り合わせであることが浮かび 上がってきました。

参加された皆様にはお楽しみいただけた ことと思います。同時に、企画した側にと っても、キャンパスの自然の魅力とその保 全の難しさを再認識できた時間となりまし





上遠先生は動物について



「これはなんだろう? |



チャリティ整体



2002年から始めたICU祭での同窓会ブ ースでの姿勢チェック&体験治療ですが、 2018年度で17年目となりました。今年は (株) ICUサービスと同じテント内でした ので、卒業式の袴レンタルのマネキンも設 置されていました。社員のお一人はICUの 同窓生でもあり、テント運営も楽しく行い ました。子ども向けのイベントで地域のお 子様たちもたくさん訪れ、その流れで本館 前の私たちのブースにもたくさんのご家族 が訪れました。

当社(株)Health Educationからは計6 人のスタッフで運営しましたが、学生のみ なさんに交じっての運営は、毎年楽しいで

学生さん、地域のみなさま、教職員のみ なさま、同窓生など、たくさんの方が訪れ、 今年はマーク・ウィリアムズ副学長にも体 験いただきました。バカ山ステージのスピ ーカーや、本館での演奏の音を聞きながら の青空治療はとても心地よいものです。

なお、イベントの収益金は、全額ICU同 窓会に寄付しております。17年間で累計 97万8175円となりました。

大学、同窓生、地域のみなさまとの交流 をしながら、ICU同窓会としてのプレゼン スもアピールできる良い機会と思い、これ からもできる限り続けてまいりたいと思い ます。ICU祭にいらした際は、ぜひお立ち 寄りくださいませ。

腰痛・肩こり・頭痛を改善したいあなたく

ICU卒業生の佣降(44期ID00)とパートナーの佣美香が25年間運営しており、毎年1万人以上の 方が来院されています。三鷹駅南口徒歩1分の当院には、ICU関係者の方が来院者の4割を 占めています。当院では、関節の動きが鈍く神経の流れが悪くなっている箇所とあなたの症状との 関連性を分析し、症状の原因を特定します。独自のつくだ式カイロプラクティックケアによる治療、 「『姿勢の魔法』シャキーン!」メソッドによる知識、パーソナルトレーニングエクササイズによる運動の 3本柱によって、症状改善だけでなく、姿勢矯正、ひいてはあなたの理想の暮らしを送る健康サポートを します。ICUとご縁のあるあなたのお役に立てましたら幸いです。

ファミリーカイロプラクティック三鷹院

「ICUアラムナイニュースを見て・・・」とお電話ください。 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-7 平嶺ビル301号室

1 0800-888-4270 受付時間 ▶ 8:30~20:00



http://mitaka-chiro.com

■1日3回で、ねこ背がよくなる「姿勢の魔法」シャキーン! **姿勢をよくすると、人生がきらめく!**

の2冊を出版しております。

当院院長佃隆は





面白い本の出版、講演会、現役学生の活動など、ICUに関連するさまざまなニュースをお届け。

ICUに関連するさまざまなニュースをお届け。

ICUや同窓生の関わるニュースあれこれ

ディッフェンドルファー記念館東棟開館60周年記念フェスティバル 「LOVE D-Kan 60 Fest.」レポート

日本で最初の学生会館として60年の長きにわたってキャンパスの中心部に佇み、学生たちに愛され続けてきた旧D館。 還暦のお祝いと感謝の気持ちを込め、2018年11月10日と11日の2日間にわたって同窓生有志による「LOVE D-Kan 60 Fest.」が開催された。 「Music Day」と題された初日は、懐かしの舞台で卒業生による音楽ライブやパフォーマンスが披露された。2日目は「Performing Arts Day」として、 大西直樹教授(16)によるピアノ演奏と卒業生によるダンス公演、そしてリベラルアーツ公開講座が開催された。

熱気に包まれたFest.の様子を、写真とともにお伝えする。

文·写真: 亀山詩乃(本誌)、奥村尚子(29 ID85、ピアノ演奏の写真)



「旧D館」という愛称で親しまれている、 ディッフェンドルファー記念館東棟。ヴォ ーリズ氏設計による近代建築の粋を集めた この建物が竣工したのは、今から60年前 の1958年のことだ。1958年というのは3 期生が4年生のときであり、すなわち3期 生から現役の学生までこのD館を利用して いることになる。LOVE D-Kan 60 Fest. の企画や出演者は卒業生であるが、現役の 学生たちが音響スタッフとしてこのイベン トを影で支えていたこともここに付け加え ておく。

Day1: Music Day

この日、懐かしの舞台でパフォーマン スを披露したのは、ハンドベルOB・OG の「ベル・クオレ」、「Swingout Brothers & Sisters (ID81−83)], \[One Night] Show (Rockey Horror Show1986 Prod. Reunion)」、メロディユニオンOBの「ゴ トー・ウィズアウト・カメレオンズ (ID78) \[\mathcal{E} \ \bigcap \text{Rixies} \text{(ID81-83)} \], \[\bigcap \text{Slacks} \] (ID77-83)」、Show-GekijyoとMMSの OBOGである「TBA (ID82-87)」、以上の 7組の音楽グループ。どのグループも現役 で音楽活動を行っており、その円熟したパ フォーマンスに、ステージも客席も大いに 盛り上がった。

終演後に食堂で行われた懇親会では、同 窓会会長の櫻井淳二氏(28 ID84)が日本 で最初の学生会館であるディッフェンドル ファー記念館の由来や創設の歴史に触れ、

「今日の皆さんの演奏を聴き、D館を中心 としてできあがったひとつの文化が脈々と 今でも引き継がれ、その中で培ったものは 非常に大きかったんだなと感じ入りまし た」と挨拶をした。

出演者は互いに思い出話に花を咲かせて おり、ステージの興奮冷めやらぬ出演者の 方々に感想を聞くことができた。

「今でも月1回集まって練習、半年に1回 発表する機会がある。卒業して20年も30 年も経ったグループが40年も活動できて おり、生きているうちはずっと活動できる のかなと。もし、もっと古いバンドがいれ ば共演してみたい」(Slacksの吉原秀東氏 21 ID77)

「自分が卒業した1978年3月に、今日 出演したSlacksのメンバーやMMSと一 緒にD館オーディトリアムを2日間借りて "Neutron Warning"という卒業コンサー トを行ったが、60周年に再びこの舞台に 立つことができて本当に嬉しい。僕らが始 めたメロディユニオンが今も続いていると 聞いて、現役のメンバーとも共演してみた い。いろいろな流れや繋がりがあって、ま たここに帰ってきて演奏できて本当によか った」(ゴトー・ウィズアウト・カメレオ ンズの後藤博則氏 22 ID78)

Day2: Performing Arts Day

「ヴォーリズの手による建築学史的にも 極めて価値の高いこの素晴らしい建物で青 春の時間を過ごすことができるというのは、

本当に恵まれた時間」と語るのは、D館長 の矢嶋直規教授。「このD館も私たちの人 生と同じように60歳ということで、少し がたがきているところを直させていただい て、いつまでも若く、若い学生たちの活 躍の場としてこれから70年、80年、90年、 100年と、この建物がますます青春の舞台 として用いられてほしい」と願いを込めて 参加者に挨拶した。

Performing Arts Dav前半は、ICUのOB で、今年度で退職される大西直樹教授によ るピアノ演奏。1968年に入学した教授は、 今年でICU在籍50年。まさに「私の人生 の記憶はほとんどこの大学で構成されて」 おり、大学紛争や、大江健三郎氏が講演を 行った際に通訳を担当した話など、大学や D館にまつわる思い出を話された。この舞 台に立つのは最初で最後だという教授は、 学生時代の思い出の2曲、ブラームスの『6 つの小品』から第2番 Op.118 と、ドビュ ッシーのアラベスク第1番を演奏した。

後半は、StudioCASTを主催し、ダンサ ー・振付師・演出家として活躍する金子礼 二郎氏 (34 ID90) の公演。学生時代にモ

ダンダンス部「Modern Dance Society」 に所属し、ダンスへの思いを断ち切れずに 会社を辞めてダンスの道に進んだという。 アシスタントの島田真奈氏と、四大元素 (水・土・火・気(風))をテーマに、オリ ジナルのコンテンポラリーダンスを披露さ れた。今日の舞台を最後にダンサーを引退 する金子氏の最後の観客となった我々は、 その力強く美しい流れに引き込まれた。

出演者やスタッフも含め、2日間を通 して400人以上が参加したこのイベント。 Love D-kan 60 Fest.事務局の長井延裕氏 (28 ID84) は、「大学・同窓会がOBOG にD館を使用する機会を提供していただき、 D館を活動拠点にしたクラブ・サークルの OBOGに数十年の時を超えたリユニオン の『場』を設営できたことで安堵するのみ です。ボランティアでご一緒していただい た奥村尚子さん(29 ID85)、大西錦城さ ん (31 ID87)、大学・D館スタッフの皆さ ん、同窓会の皆さん、そして収益金を大学 に寄付するという開催趣旨に賛同の上参加 していただいた参加者、来場者の皆様に感 謝です」と締めくくった。



『アイヌ・旺征露』がD館オーディトリアムで上演されました

文:ICUパブリックリレーションズ・オフィス 橋本明子 写真:下館和巳さん提供

アイヌ民族に置き換えて 人種問題を描く翻案作品

2018年6月9日(土)、10日(日) の 両日、ディッフェンドルファー記念館東棟オーディトリアムにて、大学とシェイクスピア・カンパニー共催『アイヌ・駐征露』 東京公演が行われ、両日で計600人の観客を得て、盛況のうちに終了しました。この東京公演のほか、仙台や札幌の公演も好評を博し、2019年8月7日~10日には英国ロ

ンドンのTara Theatreでの公演が予定されています。

『アイヌ・旺征露』は、シェイクスピアの悲劇「オセロ」を原作とし、黒人の主人公をアイヌ民族に置き換えて人種問題を描く翻案作品で、そのテーマは、人権を尊重する本学の理念と合致するとして、東京公演の共催が決まりました。劇団のはからいにより、本学の学生は無料で招待されました。

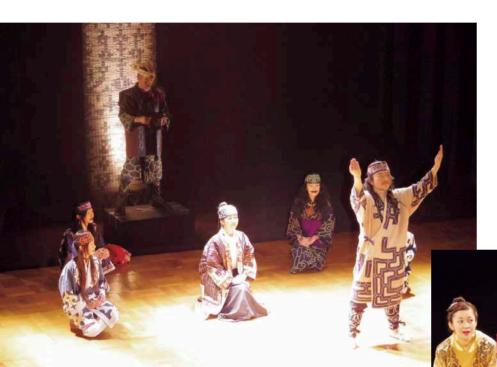
脚本・演出はシェイクスピア・カンパニ

ー主宰の下館和巳氏(23 ID79)。この作品ではアイヌ民族のアーティスト・秋辺デボ氏を共同演出に迎え、「アイヌ民族」の踊り子たちと「和人」の役者たちが共演しました。

演出の両氏は、「アイヌ民族への差別はおよそ150年続いています。 かつて何があったのか、ドラマでこそ語れる真実がある」(秋辺氏)、「アイヌ民族やシェイクスピアを身近に感じてほしい」(下館氏)と本番に臨み、幕が下りた後、観客は役者た

ちの迫真の演技に惜しみない拍手を送りました。演出両氏のアフタートークは、ICUオープン・コース・ウェア(http://ocw.icu.ac.jp/sl/sl_20180609/) でご覧いただくことができます。

この公演は、公演前後に、新聞や地元テレビのニュースで報じられ、多くの関心を集めました。これまで誰も深く掘り下げてこなかったアイヌ民族の差別問題を取り上げ、初の共同演出に挑んだ下館さんに、公演までの道のりを語っていただきました。



前景・婚礼の儀式

ヸヹロ 旺征露を案じる妻、貞珠真





カーテンコール

寄稿

『アイヌ·旺征露』の冒険 ――ふたつの闇を抜けて-

文:下館和巳(23 ID79)

私たちの『アイヌ・旺征露』に対して 「冒険」という言葉を敢えて使いたいと思 います。その理由は13年前の出来事にあ ります。私はシェイクスピアを学び教え、 創って生きていましたが、乗り越えられる かどうかわからない悲しみの闇の中にいま した。妻が、3人の幼い娘を残して病によ り忽然とこの世から姿を消したからです。 三女はまだ乳飲み子の1歳、二女はダウン 症の障害をもった4歳、長女は小学1年生 でした。

妻がインスピレーションの源と私は思っていましたので、その妻がいないことは、創造の泉が枯れてしまったのと同じことでした。茫然自失の中で私は、「アドヴェンチャーの本来の意味は、危険を冒す、ではなくて、ラテン語の前(ad)から来る(vent)ものを、私の言葉を加えれば、ですから、遠くまで出かけなくてもアドヴェンチャー。要は、受け止める、でしょう」という言葉に巡り合います。教えてくだちったのは、ギリシャ古典の川島重成先生(ICU名誉教授)でした。妻は見えなくな

っただけだ、いつもそばにいる、どこにでもいる、家族4人がばらばらにいても4人のそばに同時にいられる、生きている人間にはできない方法で私たちを守ってくれると思えた時、よし、アドヴェンチャーファミリーだ! 面白いぞ! と歩き出したのです。

港で旺征露(オセロ)の凱旋を待つ人々

まさにその時から丸々1年がかりで書き あげられたのが『アイヌ・旺征露』でした。 なぜ、茶褐色の肌のムーア人が日本の先住 民族アイヌになったのか? 日本で見たオ セロの役者は例外なく顔を黒く塗っていま したが、まずそのことに強い違和感を覚え ていたからです。オセロを日本の東北の歴 史と風土の中に置き換えて見ようとした時 に浮かんだのが、アイヌでした。海産物屋 だった私の父は、仙台の街のデパートで北 海道物産展があると、アイヌの人をよく家 に連れて来ていたのです。髯も眉も濃く、 肌も浅黒い、そして顔の彫が深くエキゾチ ックでした。なにより、声が低く柔らかく、 みなさん優しかったのです。ですからむし ろ憧れのようなものから、私の『アイヌ・ 旺征露」が生まれたのだと思います。

『アイヌ・旺征露』が仙台で初演を終えた後に2011年3月11日の東日本大震災が起こり、東北は闇に覆われました。私たちは道を変えて、壊滅的な被害を受けた三陸の湊を「短くて、誰も死なない、ぬくもりのあるシェイクスピア」作品を持って巡ることにしました。そして2016年、そのボランティア活動を見守ってくださった文化庁の方の「今が、『アイヌ・旺征露』復活の時です」という声に押されて、脚本を再考する仕事が始まりました。

私は、今のアイヌを知るためたびたび札幌を訪れるうちに、アイヌの演出家秋辺デボ氏に巡り合い、意気投合しました。空想の『アイヌ・旺征露』が秋辺氏の才能を得て、血の通った『アイヌ・旺征露』に生まれ変わって行ったのです。ある日の秋辺氏の「アイヌにも悪人はいる。だからイインドの「アイヌにしてはどうか?」という問いをかかえて、ロンドンに住むインド人間出家盟友のジャティンダ・ヴァーマに会いいる。すると彼は、目を輝かせてこういうのです。「それは面白い! 最近タイムが紙でイギリス人の若者がインド人をいじめ

たという記事があって、よく読んでみると、イギリス人の母親はインド人だったんだよ。今は、黒か白かというシンプルな時代じゃない。もっと多彩で複雑。イアゴーをハーフにしよう」。私は、ジャティンダの声を秋辺氏に伝えると、秋辺氏は「それはいい! 今のアイヌを映す鏡になる」と。気がつけば、『アイヌ・旺征露』は、日本人とアイヌ人とインド人の合作になっていました。今年8月7日からいよいよロンドン公演です。

最後に、私たちの『オセロ』論の核を 創ってくださったマシューズ先生(Roger Matthews元人文学科長)が、2018年10 月31日、故郷英国のケンブリッジで永眠 されました。この場を借りて、先生のご冥 福をお祈りいたします。更に、ここまで私 を導いてくださった英文学の恩師齋藤和明 先生(ICU名誉教授)の御霊に感謝したい と思います。

下館和巳

SHIMODATE, Kazumi

1955年生まれ。東北学院大学教養学部教授、シェイクスピア・カンパニー主宰。専門は演劇・英文学。ICUで演劇の魅力に目覚める。 英国留学を経て語学科を卒業。大学院博士後期課程在籍中の29歳の時に東北学院大学教養学部に審職。

キャンパスに植えてあった! 貴重なレバノンスギの由来

文·写真: 松山龍彦 (32 ID88)

レバノンスギという木をご存知でしょう か? その名のとおり、レバノンをはじめ とする地中海東岸に生育するマツ科の植物 で、現存する最古の株は樹齢6.000年とも いわれ、ギルガメシュや旧約聖書にも登場 する神話の世界を髣髴とさせる樹木です。 古くから優れた材木として伐採が続いた結 果、いまはレバノンのカディーシャ渓谷に ある直径数百メートルの森だけが群生地と なってしまい、レッドリストにも掲載され ている希少植物です。古い株は日本国内で はほとんど確認されていません。

そんな貴重な樹木が、なんとICUのキャ ンパスに植わっていたのです。そしてそん な貴重な樹木でありながら数奇な運命の末 に忘れ去られて、人知れず風雪を耐えて生 存していたのです。

1957年、ICU第2期生の久世(旧姓横 山) 礼子さんの尊父、蚕糸試験場長だった 横山忠雄さんは出張先のレバノンでの功労 を称えられ、大統領からレバノンスギの苗

木数本を贈られました。持ち帰った株は自 宅の庭に植えていたのですが、ICU教授・ 篠遠喜人先生の「聖地植物園」構想を知り、 これをICUへと寄贈。ご自分の庭に移植し、 これを育てられた先生はその後学長を務め、 1975年に定年退職。レバノンスギは学内 住宅の敷地に取り残されました。1983年、 短期で再度学長職を引き受けられた際に先 生は短く剪定されたレバノンスギを発見し 落胆、無用な剪定からこれを守り大学のシ ンボルツリーとして育てるべく教会前ロー タリー中央にこれを移植したのです。しか し、株は数年後にまたしても剪定の憂き目 に遭いました。その4年後の1989年に篠 遠先生は永眠。それから数年後には、ロー タリーからレバノンスギの姿が消えていた

古参の先生方や元理学科の教授ほか関係 者にも、レバノンスギの行方を知る人はい ませんでした。これはと思った株も枯死し ていたり近縁種のヒマラヤスギだったりし



て挫折しかけましたが、約1ヶ月の粘り強 い調査の結果、当時の管財課職員から得た ヒントをもとに株の存在が確認できました。 東京大学の研究者の協力によるDNA解析 の結果、これが他種や交雑種でなく純粋な レバノンスギであることが証明され、国内 最古の株である可能性も示唆されました。

キャンパスにある多くの記念樹の中でも、 この株は特別に貴重な一本と言えるでしょ う。レバノンスギの南にはこの数十年でう



っそうとした雑木林ができてしまい日当た りが悪くなったので、枯れた枝が目立つ状 態です。いち早い生育環境の改善が望まれ るところです。

「ICUサマースクール能を支える100人の会 | が発足しました

文:中村勝(7)

吾国の古典文化を代表する能楽は、ユネ スコへの無形文化登録第1号でシェークス ピアに200年先立ち、13世紀以来連綿と 継承される世界最古の舞台芸術です。私ど も7期を中心とするOBの皆さんで、大学 当局の深いご理解ご支援のもとに、この3 年、毎年7月に、D館において来日される 海外の学生さん、在学生、教職員、近隣

の方々を招待し、一流の能楽師を招いて、 2016年「経政一つねまさ」、2017年「羽 衣」、2018年「葛城―かずらき」を金春流 の演能会として開催して参りました。

今般、本企画の更なる永続のため広く 「支える会」を発足いたしたく、お若い世 代のOB諸兄諸姉に以下ご検討の上ご参加 をお願い致すこととなりました。

イ. 会費 1万円(演能要項が決定次第、詳細をご案内します)

ロ、会員各位へはD館観能のための優先席1枚の提供と会後の交流会ご案内

ハ. 演目のテキスト及び解説の提供、または能楽講座へのご案内

上記ご賛同の趣には、メール、ハガキ、お電話でご連絡いただき次第会員登録 させていただきその後の連絡用とさせていただきます。

発起人:元能楽協会会員 肥後金春流13代 中村 勝 〒860-0046 熊本市西区横手3-13-14

メール: higo-nakamura@tea.odn.ne.jp 電話: 096-352-7801 (なお演能は、中村勝 長男で能楽協会会員・金春流 中村一路を主体に実施されております。

当中村の芸系につきましては「肥後中村家」でご検索下さい。また頂戴しました個人情報は外部厳秘といたします)



ラグビーW杯日本招致の立役者 徳増浩司さん 『ラグビー もっとも受けたいコーチングの授業』を上梓

文: 平川武通 (35 ID91) 写真: ふかつみちよ

ラグビーワールドカップ2019日本招致 の立役者で、DAY受賞者でもある徳増浩 司さん(18)が、『ラグビー もっとも受け たいコーチングの授業』(ベースボール・ マガジン社)を上梓されました。

昨今、日本スポーツ界の保守的な体質が 社会問題になっていますが、この本で徳増 さんは「個性×15の自己表現 子どもた ちに"おもしろい"ラグビーを! 自分で 考える、自分の持ち味を出す、全員が参加 する、それこそが"自己表現のラグビー" だ。私はそういうラグビーを提唱したい」 と、主張されています。

徳増さんは、私立茗渓学園(茨城県つく ば市) 高校ラグビー部監督として、従来の 枠組みにとらわれないオリジナリティに満 ちたラグビーで1988年度全国優勝を成し 遂げられていますが、その個性的なチーム を作り上げた指導法の根底を、本書から学 ぶことができます。

この本の出版を記念して、2018年12月 3日には都内にて、教え子である茗渓学園 ラグビー部OBOGが中心となり、パーテ ィーが開催されました。茗渓学園にラグビ 一指導者兼英語教師として徳増さんを招聘 した故加納正康さん(18)の奥様や、ICU ラグビー部のOBOGも出席し、徳増さん をよく知る皆さんによる笑顔あふれる楽し いパーティーとなりました。



「キャンパス物語」が本になりました

文:樺島榮一郎(本誌)

お待たせしました。2006年から2013 年まで7年間にわたりAlumni Newsに連載 させていただいた「キャンパス物語」が、 『ある土地の物語』という題名の単行本に なりました! 1934年の泰山荘の建設か ら1981年の総合学習センターの建設まで の約50年間のICUキャンパスの歴史をた どる本です。前半は、泰山荘を建てた日産 財閥重役や、泰山荘に住んでいた中島飛行 機創業者の中島知久平、ICU設立に深くか かわったディッフェンドルファーや山本忠 興、日本の建築界に大きな影響を与えた建 築家のヴォーリズやレーモンドなど、さま ざまな人物のこの土地への思いと関連した 出来事を描いています。この部分は人間ド ラマとしても面白いですし、出来事は当時 の時代背景を反映していて、通常と違った

視点から現代史をコンパクトに見ることが できるといった面もあります。後半は、キ ャンパス内の建物の建設の経緯やコンセプ トなどを豊富な写真とともに詳説する建築 編となっています。そして、新たに「ヴォ ーリズの手紙」という補章を加え(自信作 です!)、「キャンパス物語」を読んでいた だいた方にも新発見があるようにするとと もに、ICU以外の人に一般書として読んで いただけるよう一部を書き直しています。

連載終了から5年、ここに至るまで、自 費出版を模索したり、本業が忙しく放置し ていたり、さまざまなことがありました。 しかし、近年、学内でもヴォーリズなどの 研究が進み、その資料として必要性が高ま っていること、何より、何人かの方々にぜ ひ出版するようにと力強い励ましを頂いた

ことから、昨年から再び本腰を入れて出版 に向けて動き始めました。3社の出版社に 企画を持ち込みましたが、いずれも200万 円程度の制作費負担が避けらないと分かり、 またもや、とん挫の危機に。しかし、同窓 生の方から個人的に支援したいというお話 までいただき、やるしかないと決意を新 たに、なんとか出版にこぎつけた次第で す。今回の本には、今はなき旧学食や第一 男子寮・女子寮、第二男子寮・女子寮など の写真、普段は見ることができないパワー ステーションの内部や学長室なども収録し、 (懐かしの?) キャンパスツアーとしても

お楽しみいただけると思います。ぜひとも

お手にとってご覧いただければ幸いです。

カバーには1949年のヴォーリズの キャンパスマスタープラン図を使った。



樺島榮一郎『ある土地の物語 -中島知久平・ヴォーリズ・レーモンドが見た幻』 北樹出版、2700円(発売中)

https://goo.gl/forms/v295pG6R8gmizvoW2



「未来予想ZOO」~ICU卒業生ならではのさまざまな生き方から学ぶ

文: 松本典子(45 ID01) 写真: 同窓会学生部

2018年9月22日 (土)、樅寮・楓寮の1 階共有スペース(ウィステリアホール)に おいて、卒業生のさまざまな生き方に触れ、 在学生が将来のことを考えるお手伝いをす るイベントとして、ICU同窓会による「未 来予想ZOO」が開催されました。当日は 学生47人、卒業生ゲスト10人にご参加い ただくとともに、大学関係者、同窓会関係 者の方々にご協力いただき、学生部スタッ フを合わせて参加者合計約80人による盛 会となりました。

参加いただいた卒業生は、「ZOO」とい うイベント名にふさわしく、学生時代の

メジャーもさまざまなら、現在の生き方も、 現在に至るまでの過程もさまざまな顔ぶれ でした。

卒業生には、事前に「学生時代に力を入 れたこと」「卒業後のキャリア」「現役の在 学生に伝えたいメッセージ」といったアン ケートに答えていただきました。当日はグ ループに分かれて、学生からの質問に答え てさらに突っ込んだ話をしたり、ディスカ ッションをしたりと、ICUという同じ場で 学んだ者同士でなければできない交流の場 となりました。

今回で2回目となるイベントですが、新

たな試みとして、卒業生の話の中で印象に 残った言葉・フレーズを書きとめ、最後に 参加者全員で共有をしました。これらの言 葉やフレーズを振り返ると、卒業生から の在学生に対するメッセージには共通し て、「自分の好きなことを今のうちにとこ とんやってほしい」という思いが込められ ていました。また、参加した在学生からは、 「普段会うことのできない同窓生との方々 と交流ができて、とてもためになった」 「卒業生の皆さんにはICU生的な考え方が 揃って備わっていたと感じた」といったコ メントが寄せられました。在学生にとって



は、現在と未来の「生き方」を学ぶ場にな ったのではないかと思います。

「キャリア相談会2018」開催報告 先輩たちの「生の声」を聞きキャリアについて考える

文: 廣岡敏行(31 ID87) 写真: 神田真司 (49 ID05)



学生向けの就職相談イベント「キャリア 相談会」が、2018年12月8日(土)に開 催された。過去には、都心の会場で開かれ ていたが、前回に続き今回も土曜日に授業 がある学生を考慮し、学生食堂で開催した。 参加学生は84人、同窓生にとっては交通 の便が良いとは言い難いキャンパスで開催 したにも関わらず、ご協力頂いた同窓生は 41人となった。

当相談会は、特定の企業について聞く就 職フェアとは異なり、「自分の価値観に見 合った将来の進路を考える」を念頭におき、 さまざまな角度から仕事やキャリアを考え るきっかけとなる場である。グループト

ークとフリートークの2部で構成され、グ ループトークでは、同窓生2~3人に対し て学生7~8人のグループに分かれ、30分 間のセッションを計4回実施。前半2回は、 「専門性」や「国際性」といった企業名や 業界とは別の視点による8つの「テーマ」、 後半2回は10の「業界」ごとのグループに 分かれ、学生たちは先輩たちに積極的に質 問し、その答えに耳を傾けた。フリートー クの時間では、グループトークでは聞けな かった質問を積極的に先輩たちに投げかけ、 熱いトークの時間となった。

開会の際、櫻井淳二同窓会会長(28) ID84) から、また閉会前には学生サービ ス部の岸本誠部長から学生に向けたお言葉 をいただいた。学生たちからは、「説明会 やウェブサイトでは知ることの出来ない、 卒業生の本音を聞くことができた」「ぼん やりした将来のイメージが明確になってき た」「自分の興味に対し、さらに確信が高 まった」「自分の興味以外の業界や会社の 話が幅広く聞けた」などの声が寄せられた。 終了後、ご協力頂いた同窓生の懇親会が開 かれ、同窓生同士の話が弾んだ。「学生か らの質問にお答えするにあたり、自分自身

を振り返る良い機会となった」と、日々仕 事に追われる同窓生にとっても、改めて自 分を見つめ直す良い機会となったようだ。

ICUサマースクール能を支える100人の会

日本の古典文化を代表する能楽はユネスコの無形文化登録第一号で14世紀以来継承され てきた世界最古の舞台芸術です。私たち7期を中心とするOBの有志は大学の深いご理解・ ご支援のもと 金春流 (こんぱる) 能楽師中村一路により 、2016年 「経政」 2017年 「羽衣」 2018年「葛城」を ICU D館にて開催してまいりました。

今般、本企画の永続・発展の為「支える会」を発足したく、OB諸兄方に広く参加の ご検討をお願い申し上げます。

イ). 制作協力金 1公演 1万円

- 口). 会員各位へはD館観能のための優先席1枚 提供と交流会へのご案内
- ハ). 演目のテキスト及び解説の提供 又は能楽講座へのご案内 【お申込みは下記までご連絡ください】

郵便 : 〒860-0046 熊本市西区横手 3-13-14 メール: higo-nakamura@tea.odn.ne.jp

電話 : 096-352-7801 : 090-3609-4460 元能楽協会会員 7期 中村 勝

中村家の芸系につきましては「肥後中村家」でご検索下さい。 ※頂戴しました個人情報は部外秘といたします。

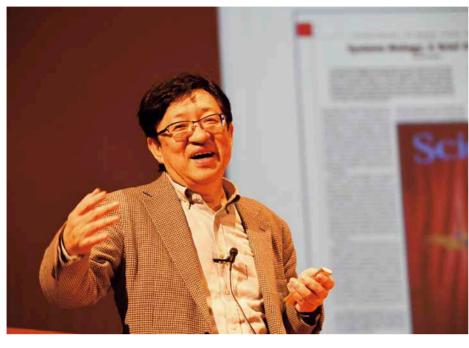


15代中村帯雅(小学2年)

第4回 ICU同窓会リベラルアーツ公開講座

「人工知能がノーベル賞を獲る日、そして人類の未来」

北野宏明氏が語る人工知能のこれまでとこれから





穏やかな秋の陽光が降り注いだ2018年11月11日(日)、

ソニーコンピュータサイエンス研究所代表取締役社長/所長 北野宏明氏をお迎えし「人工知能がノーベル賞を獲る日、そして人類の未来」と題した講演会が開催された。今年は、60周年を迎えたディッフェンドルファー記念館東棟オーディトリアムを会場とし、集った231人は北野氏の言葉に熱心に耳を傾けた。ICUのリベラルアーツとは何か――。より多くの若者が自身の耳で聞き、目で見て感じてもらえる機会をつくりたいという同窓会有志による非常に強い思いで始まったこのリベラルアーツ公開講座(ICU同窓会主催、ICU協賛)。講演後の質疑応答では、若者たちから多くの質問が挙がった。

文: 亀山詩乃(本誌) 写真: 新井亮一(32 ID88)



ロボットがW杯優勝チームに勝利 する!? ロボカップ開催の意義とは

1960年代に生まれた人工知能 (AI) の分野で、1997年にスーパーコンピュータ「Deep Blue」が当時のチェス世界王者に勝利したことは画期的な出来事であった。将棋や囲碁でも人間に勝利し、目の前に全ての情報がある「完全情報問題」の解き方ならほぼ分かっていた。それに対して、目の前に全ての情報があるわけではない、正解がない、情報にノイズや誤りが入っている、という「実物理問題」をどう解くかが現在の課題だという。

AIとロボットの研究が始まって30年近く経 った90年代中頃、北野氏をはじめとする研究 者がAIのグランドチャレンジとしてロボカッ プを提案。掲げた目標は「2050年までに完全 自立型ヒューマンロボットのチームでFIFAワ ールドカップチャンピオンチームに勝利する こと。勝利も大切な目標だが、本来の目的は、 勝利を目指す過程で産み出された技術が産業を 変革することだ。90年代前半に30~50年後 を見据えたときに、AIとロボットの分野で自動 走行車・物流ロボット・災害救助ロボット・介 護口ボットの領域が社会的に最も重要なトピッ クになっていると想定していた。この問題を解 くための自律エージェントや分散協調システム という技術を駆使して、世界中が盛り上がれる グローバルな競技は何かを考えた結果、それが サッカーだった。

失敗? 動かないロボットを見て、 未来を想像できるかどうか

1997年に第1回のロボカップが行われたが、期待と裏腹にロボットは全然動かなかった。

「いつ試合が始まるんですか?」「5分前からやっているんだけど(笑)」、たまにボールに当たると観客が大盛り上がり……そんな状況だった。しかし数年後には、スムーズに動き回って人間をかわしながらボールをパスできるまでになった。このようなロボット技術を倉庫・物流に応用した会社がある。荷物を箱詰めする場所に運び、重さに応じて自分で動き方を変えるロボット、これを作った会社が、のちのAmazon Roboticsである。これがきっかけで物流のパラダイムが完全に変わった。2009年のロボカップレスキューでチャンピオンになった千葉工大のロボットは、現在、福島第一原子力発電所周辺の探索に使われており、ロボカップ本来の目的が随所で実現されている。

「動かないロボットを見たロボット学会の偉い先生方に『北野さんこういうの辞めてもらえないか? 評判悪くなるから』と言われていた。そういうのを無視して延々と研究すると(笑)、技術も進むしいろいろなスピンアウトも出てくる。97年のあの動かないロボットを見てこの未来を想像できるかが大事なんです。イマジネーション、これを信じ続けることができるかどうかというのが、非常な重要なポイントになると思うんです」

科学的発見ができる 人工知能を開発したい

北野氏が研究を続ける生物学分野で掲げるものが「2050年までに医学・生命科学の分野でノーベル賞級の発見をするAIを開発する」というプロジェクト。科学的発見ができるAIが作られたら、サイエンスはどのように劇的に変わるか――。そんな興味から、プロジェクトを考え始めた。科学者がものを発見するときに存在

する直感や、セレンディピティや、ある種の運、 そして人間の認知能力や言語表現の限界や、認 知バイアス。昔からまったく変わっていないこ の現状をどうにか変えられないか? という思 いが背景にある。

AlphaGoが明らかにしたもの

米Googleのチームが開発した囲碁AI、AlphaGo(アルファ碁)は、過去の棋譜から学習するだけでなく、AlphaGo同士で対局をしていろいろな盤面を作り、評価するということを延々と何億通り行った。起きていない未来を全部体験して、それを評価しているから、人間より圧倒的に強い。あるとき、AlphaGo同士の棋譜は人間では考えられない変な打ち手をしていることに開発者が気付いた。

「どうも、人間の過去の棋譜を使うのが良くないのではないか? |

それがきっかけで、最初からランダムに打つ AlphaGoゼロを作ったが、まさにそれが人間 のトップよりも圧倒的に強かった。この出来事から、人間の棋譜は過去3000~4000年の歴史で人間が打ちやすい棋譜の中で一番強いものを見つけていっただけで、囲碁というゲームの本来の一番強い打ち方を見つけていなかった、ということが明らかになった。AlphaGoゼロがまっさらな状態から始めることで、囲碁というゲームで最も強い打ち方が発見され、囲碁界に衝撃を与えた。

問題は、それがサイエンスに 通用するかどうか

これまでの科学的知識は「人間が理解して発見できて記述できるもの」という前提があって発見されてきた。しかし、世の中に存在する法

北野宏明(28 ID84)

KITANO, Hiroaki

(株) ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長/所長。1961年生まれ。国際基督教大学教養学部理学科(物理学専攻) 卒業。米カーネギーメロン大学客員研究員、京都大学博士課程(工学)を経て、93年にソニーコンピュータサイエンス研究所に入社。 2011年に現職。ソニー株式会社執行役員を兼任。ソニーの犬型ロボット「AIBO」の開発者、また国際的ロボット競技会である「ロボカップ」の発起人としても知られる。

則が全て、人間が発見しやすく分かりやすくできているという保障はない。もしかしたら、将来、AIが見つけてきた法則が「我々人間は理解できないが、それはどうも動いているらしい、正しく成り立っているらしい」という可能性だってある。そんなとき、我々はそれを「近似的に理解する」ことをしなければいけないかもしれない。同時に、科学的発見の過程とは何かを見直すことになる。

AIは精度を上げる、効率を上げるという方向に行くのは間違いないが、同時にAIは人間のクリエイティビティを増大させるために用いられることが増えるであろう。AIの時代に、人間は予想外の(クレイジーな)ことをどれだけできるかに非常に価値が出てくるのではないか。

最後は、ご自身が一番好きだという言葉で講演を結んだ。「The people who are crazy enough to think they can change the world, are the ones who do. これはApple のThink Different キャンペーンの言葉ですが、世の中は本当に変えられると思っている。crazyだと思っている人間だけがそれを実現できる。ICUの皆さんにも、crazyなideaで世の中を変える人がたくさん出てきていただければと思います」

A_People

尾上明代 (27 ID83) 立命館大学教授・ ドラマセラピスト

各ジャンルで活躍の同窓生を紹介

セッションを通して、 自己と他者の対話を促進させる、 日本第1号のドラマセラピスト

2018年12月、紅葉のピークを迎えるキャンパスに、尾上さんは帰って来た。 在学中は劇団黄河砂や英語劇の活動に夢中だった。

思い出の「D館 | (=IDD館、ディッフェンドルファー記念館東棟) ラウンジを訪れると、 相変わらず学生が公演の打ち合わせをしている。

文・写真:加藤菜穂(本誌)

その傍でお話を伺った。

尾上さんは、大学卒業後、フリーアナウンサ ーや俳優として活動。38歳の時、心機一転、 文化庁芸術家在外派遣研修員として渡米。もと もとドラマセラピーを学ぶために留学したわけ ではなかったという。偶然立ち会ったセラピー で、能面のように言葉や表情を失っていたレイ プ被害者の女性が、「医者と患者」という設定 を与えられると、途端に憤りを顕わにして喋り 始めた。その姿を見て、「これだ。私はこれを やりたい」と決めた。2005年、日本国内で第 1号の、北米の学会公認のドラマセラピストに なる。現在、立命館大学大学院教授で、東京大 学教育学部でも教えている。

ドラマセラピーは、日本ではまだ聞き馴染み のない言葉だ。医療、教育、福祉など様々な現 場で実用化され、対象者は広く、発達障害、認 知症、精神疾患、依存症など、あらゆる症状、 状態に有効だ。犯罪被害者だけではなく、加害 者の更生の過程にも適用される。

彼女は、依存症中間施設、介護施設、児童養 護施設、クリニックなどから依頼されて出向く 他、定期的に、テーマを掲げたセッションを開 催している。セッションには、特に治療を必要 としない人でも、日常生活における人間関係の 改善、感情表現やコミュニケーションの向上、 「健康のため」、「演技をしてみたい」など、 様々な動機で参加することができる。エネルギ - のある人も、心身に不調がある人もいる。症 状によっては、主治医から参加の許可を取って もらうこともある。「テーマがある場合は、例 えば『母娘の葛藤』『人生を楽しむための感情 とのつきあい方』など、テーマそのものに興味 を持って来る方が多いです」

EXIM INTERNATIONAL, INC.

永島 克彦(14期) 比奈地 康晴(14期)

被災者たちに、 地震の設定を加える理由

では、実際のセラピーはどのように行われる のか。実例を伺った。

2018年9月、北海道を地震が襲ったことは 記憶に新しい。尾上さんは偶然、札幌でセッシ ョンを予定していた。直後とあって中止も考え たが、現地の状況を聞いた上で、参加者の希望 により開催する運びとなった。

まず、参加者に「どんなことがあっても感情 を切り替えるゲーム」をしてもらう。その後、 いよいよ本番では『桃太郎』を演じる。途中、 彼女が「突然、地震が起きた」という設定を加 えると、演者たちは各々、恐怖や混乱を演じ始 めた。そこで更に「感情を切り替えて」という 指示を出す。一転、沈静化し、桃太郎が鬼たち と食べ物を分け合うストーリーに。これは、先 程のゲームによる予行練習が効いているからだ。 一見、『桃太郎』は擬似的な世界に過ぎないが、 劇中での「ネガティブな感情を自力で変えるこ とができた」という体験が、演者の中に実感と

以上はほんの一例であり、ケースによって内 容は多岐にわたる。

ところで、被災直後の人々にとって、地震の 設定は刺激が強いのではないかと案じてしまう。 「これができるのは、その前に笑いをたくさん 起こすようなワークショップをやっているから です。遊びから始めます。これが大事なステッ プなんです」と、彼女は説明する。

というのも、演技の影響力は絶大であり、実 に"コインの裏と表"だからだ。治療に多大な

る効果を発揮する一方、使い方を間違えれば精 神的負担を与えかねない。実際、プロの俳優で あっても、役と本来の自分の境界線を見失い、 日常の言動が変化したり、精神疾患に陥ったり することは珍しくない。

故に、基本は架空の設定と場面を演じること を大事にしている。ネガティブな実体験を「自 分」として演じることは、ともすればトラウマ の再現になってしまうからだ。架空であれば、 適度な客観性や安心感を持って臨める。また、 現実世界の制約や固定概念から解き放たれ、普 段言えないことやできないことを表現できるの

役を交換することで新たな発見をしたり、最 後に必ず「役の解除」があったりと、切り替え も重要だ。

適切なプロセスを踏み、演者を不用意に傷付 けることなく、演技の"良い作用"を発揮させ るのが、プロの仕事だ。

ドラマセラピスト自身が相手役を務めること もあり、演技力も求められる。例えば苦しむ役 を演じて見せる時――もちろんリアルに再現す ることもできるが、相手に恐怖を与えると判断 した場合、例えばあえてコミカルに演じる。演 技のレベルを調節する力も必須だ。

セラピーの枠を超えて

セラピーは、参加者1人1人を深く理解する 場だ。彼女は、人を病名や症状で均一的に判断 することを危険視している。普段、「物忘れを する人」「粗相をする人」としか認識されてい ない認知症の患者が、演技によって生き生きし

ONOE, Akeyo

アナウンサーとしてNHK・テレビ朝日等のニュース・教育番組を担当後、文化庁芸術家在外 派遣研修員(演劇部門) として渡米。米国イリノイ大学大学院演劇研究科客員研究員・講師を 経て、日本国内第一号のドラマセラピストとなる。さまざまな臨床現場での実践や教育領域等 でのトレーニングの実施により、ドラマセラピーの普及に勤しむ。北米ドラマセラピー学会公 認ドラマセラピスト、北米ドラマセラピー学会公認トレーナー、立命館大学大学院人間科学研 究科教授、東京大学教育学部非常勤講師、ドラマセラピー教育・研究センター代表。



無理をして頑張っているということもある。 「だから施設でやる時は必ず、職員さんにも一 緒に参加してもらっています」。

演技が作用し、人のさまざまな側面を表出さ せ、自他共に新たな理解をもたらすのだ。

ドラマセラピストの仕事に興味を持った方も いるのではないだろうか。

以前は、英米留学しか選択肢がなく、多くの 人にとって英語力が壁となっていた。現在、国 内では立命館でその一部を学べるようになって おり、更に尾上さんに師事し、資格を取ること も可能だ。「ICU生は向いている。楽しめると 思いますよ! ぜひICUでもコースを開講して は?」と提案をいただいた。

彼女の場合、ICUで身に付けた英語力や、学 生時代からプロに迫る演技経験も、支えとなっ

行動力がありポジティブな雰囲気の彼女だが、 意外にも「時間を無駄にしたかな、と思ったこ ともあった」と言う。「でも、今振り返ると無 駄なんて無い。全てが今に繋がっていて、意味 がある」と、やはりその眼差しは真っ直ぐだ。 この言葉は、進路に迷いや後悔を持つ全ての人 にとって、大きな励みになるだろう。

「ドラマセラピーは、狭い意味での"セラピ ー"の枠を超えて、個人と集団を繋ぐことがも っともよくできる活動の一つです。心と身体を ホリスティックに使いながら、グループでリフ レクティブに演じ合うことを通して、自己と他 者との対話を促進させ、個人とコミュニティが 豊かに発展することに貢献できます。これから も、ライフワークとして一生続けていきたいで す!」と、尾上さん。彼女の活躍とドラマセラ ピーの発展は、まだまだ続く。

個人と集団をつなぐ

た姿を見せることがある。元気に見える人が、



☎ 03-3431-2118

URL: http://www.exim-int.com/

-ターの私たちも

Think globally, act locally.

"ここ"から始まるストーリー

東京・三鷹市にあるICU。そこから数多くの卒業生たちがさまざまな場所へ旅立っていった。

ICUの「I=International」を意識せずとも胸に刻み込んで過ごした大学時代を経て、今、卒業生はどのように生きているのか。この企画では、国内の"ある場所"で活躍する仲間にスポットを当て、その地で活動を始めた経緯やその地の魅力を聞いた。そこから見えてくる、"地域にこだわり、地域にとらわれない"生き方とは——?



地域内外の多様な人々が共に挑戦する、開かれたまちづくり

岩手県釜石市 釜石市オープンシティ推進室長/内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 石井重成さん(53 ID09)

文:安楽由紀子、小林智世(本誌) 写真:本人提供

震災から8年が経とうとしている。釜石 市オープンシティ推進室長の石井さんは経 営コンサルティング会社勤務を経て、東日 本大震災発生後、岩手県釜石市へ移住。釜 石市の復興推進本部(当時)に任期付職員 として参画した。

東京でも地元の愛知県でもない岩手県釜 石市の行政に転職した経緯について次のよ うに説明する。

「東日本大震災から1年が経過した2012年春、被災現場を訪れました。復興支援に特別な関心があったわけではなく、たまたま友人を訪ねに行ったのですが、眼前に広がる瓦礫の山と、そこで未来を語る地域住民やボランティアの心の強さに触れ、"いま東北にいないで、どこにいるのだ……"と、心の温度が上昇したことを覚えています。間もなくして、当時の職場に辞意を伝え、復興支援団体からの紹介もあり、縁あって釜石市に就職しました」

もともと釜石に縁のなかった石井さん。 そこには苦労もあった。

「26歳で東京から釜石に飛び込んできた 私は、地域から見れば"未熟なよそ者"で した。当初は、カタカナをよく使う変な人 という理由で「アジェンダくん」と呼ばれ (笑)、目の前にある課題にがむしゃらに取 り組む他なかった。毎晩のように住民懇談 会が開かれていた状況下で、お便りの封筒 詰めも、体育館のイス並べも、雨の日の交 通整理もやりました。昼夜を問わず多くの 人に出会い、現地の情報を発信し、資金を 集め、新規事業を企画して、ダメだったら 謝る。リスクテイクも自分でしました。地 域課題を、多様な企業・人材に関わっても らうための"余白"に転換していくため試 行錯誤の日々でした」

2013年4月、住民・企業・NPO・自治 体などの異なる組織間や、市内外の架け橋 となって調整を行う地域コーディネーター 組織「釜援隊」を創設。2015年に立ち上 げた高校生へのキャリア教育「KAMAISHI コンパス」では、3年間で2000人を超え る高校生と350人以上の地域内外の大人た ちが対話セッションに参加、就職を希望す る高校生のうち、市内企業に就職する生 徒の比率が10ポイント強上昇した。2016 年3月には700人を超える市民との対話を 経て、地方創生ビジョン「釜石市オープン シティ戦略」を策定。復興プロセスで得た 最大の資産を「つながり」と定義し、地域 内外の良質な交流を育むことにより、コミ ュニティ活動や経済活動を活性化する地域 ビジョンを描いた。広域連携による移住・ 創業支援「釜石ローカルベンチャーコミュ ニティ」では、シャッター商店街だった場 所に民間資本・運営のシェアオフィス「coba kamaishi marudai」がオープンし、地 域材を利用したジュエリーや木材カトラリ ー製造、自然保育やゲストハウス開業な ど、新たな暮らしや経済の創造に取り組む 移住者・若者らが集うコミュニティが生ま れている。その他、体験型観光「Meetup Kamaishi」など官民連携の推進を行った。

地域課題に向き合う視座を ICUで学んだ

ICUへの進学は、高校の尊敬する英語の 先生から紹介され「ピンと来た」という。

「自分の頭で考え、行動できる人間にな ってほしいというメッセージだったように 思います。入試の数か月前にICUという存 在を知り、心惹かれ、気づいたら入学して いました。大学では、基本的にはフライン グディスクを投げていました (笑)。アル ティメットというスポーツを大学から始 めて、週4日のペースで練習や試合に臨み、 キャプテンとしてチーム運営を担う立場で 多くの失敗をして、生涯の友人を得ました。 また、『政治文化論』という授業との出会 いが、私の根っこに影響を与えています。 政治学者・高畠通敏さんの『現代における 政治と人間』という論文を通じて、"自由 とは何か"という問いに出会いました。当 たり前のように見える社会の制度や価値観 を、自分たちの力では変えることのできな い所与の前提として捉えるのと、自分たち の力で変えることができると捉えるのとで は、人間としてのあり様が全く変わってく る。被災地で地域課題に向き合うための視 座をICUで学びました」

2019年、釜石。あのとき石井さんの心を震わせた景色はもうない。だが、石井さんの活動は続く。

「住宅再建や産業再生に一定の目途がつ き、非常時から平常時のまちづくりへシフ

トしていく中で、人口減少や少子高齢化を はじめとする震災以前からの課題に向き合 っていく必要があります。今年5月には前 述した『釜石市オープンシティ戦略』を改 訂し、各事業の見直しとともに、2015年 に国連が定めたSDGs(持続可能な開発目 標)とのひもづけを明記しました。米民泊 最大手Airbnb社と国内自治体としては初と なるパートナーシップを締結し、2017年 にはシェアリングエコノミー協会より『シ ェアリングシティ』認定を受け、2019年 は東北唯一のホスト地域としてラグビー ワールドカップ2019を迎えます。生きた 防災ノウハウや市民主体のまちづくり手 法を東南アジアに移転しながら、釜石の 次世代育成につなげる国際プロジェクトも 始まっています。時間の経過とともに被災 地は"被災地"としての姿を失っていきま す。そのことを"復興"と呼ぶ人もいれば、 "風化"と呼ぶ人もいる。私は都市と地方 がつながるためのコンテクストを生み出し、 多様な社会の変化を包摂しながら、釜石が より強く、しなやかな地域であり続けるた めの探求をしていきます」

釜石のいいところ

●気候が素晴らしい

夏は涼しく、冬は意外と寒くない。雪もほとん ど降らないので過ごしやすい場所です

●オープンな気質

近代製鉄発祥の地として、三陸の港町として、 人の交流がまちの発展を支えてきた釜石には地 方でありながらも、オープンな気質があります

7_Major

全31の中から気になるメジャーを紹介

物理学 第17回 岡野 健教授

1991年、東海大学物理学博士課程修了。1998年、ICU教養学部に教授として着任。 2008年から2014年までICU理学館長、2009年から2010年まで大学院理学研究科長 を歴任。専門分野は電気電子工学および電子・電気材料工学。これまでに行ってきた 研究のテーマは、「ダイヤモンド表面からの電界電子放出の研究」「超高感度、広帯域 光検出器の作製 | 「少量 X 線照射直接変換型リアルタイム検査装置の開発 | など。

今回は、理系メジャーの中から物理学メジャーを取り上げます。

私たちの身のまわりで起きている現象の多くは、物理的な法則が関わっています。 では、物理学を学ぶとはどういうことなのでしょうか。

岡野健教授に物理学メジャーの学びについてお話をうかがってきました。

文・写真: 谷澤 聡 (本誌)

"学生のニーズに合わせた 物理学を教える"ということ

物理学メジャーにおいて目指していることは、 「学生のニーズに合わせた物理学を教える」と いうことです。たとえば、大学院へ進学するた めに必要な物理学であったり、企業での研究開 発などに生かすことができる、仕事に就く際に 役に立つ物理学であったり、学生のニーズは多 岐にわたっています。

学生によって、それぞれスタート地点が違い ます。中学・高校で物理、基礎物理と学んでき た学生もいる一方で、物理学を全く学んだこと がない学生も年に何人かはいます。各々の背景 に合わせて、どうやって履修を進めるかを考え ることが必要です。それを可能にすることが少 人数教育の強みでもあると思っています。

ICUの物理学のカリキュラムは、高校で物理 を履修していない学生でも、物理を学べるよう にしてあります。物理というと、「斜面に積み 木をのせて、それが滑るかどうか」のような議 論をしていると思われることもありますが、そ れでは興味を持ちにくく、苦手意識が生まれて しまいます。それを避けるためには、学生一人 ひとりから、どういう背景なのかを聞く必要が あります。たとえば、実験をやったことがない 人は実験コースを中心に履修するように指導を 行ったり、全く物理を学んでない人は基本から 学ぶように指導したり、といったものです。

研究室を出た学生のうち、およそ7割以上が 修士課程に進んでいます。その後、博士課程へ と進学する学生もいれば、電機メーカーや精密 機器メーカーなど、企業へ就職する学生もいま す。研究室で学んだ知識や経験が、企業での開 発の仕事につながり、即戦力として評価された 学生もいました。どのような道に進むとしても、 大学で学んだことを進んだ先で生かせるという ことは、非常に嬉しいことであると思っていま す。

研究と教育

私は研究や実験を進めることがとても好きで

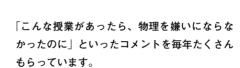
す。過去には、研究論文が英科学誌『Nature』 に掲載されたこともあります。世界中の研究者 たちが「実現できない」と言うようなテーマに 対して、「そんなはずはない」「この研究は自分 にしかできない、いい機会だ」など考えながら 取り組んでいます。困難に思えるところから、 試行錯誤を重ね、成功への道を模索していくこ とに非常にやりがいを感じています。

しかし、教育は研究と比べて、より難しいも のであると感じています。日々、学生のために 一生懸命に取り組んでいますが、学問ではなく 人間そのものが相手となると、自分が思った通 りに進めることはなかなかできず、悔しさを覚 えます。研究だけに集中すれば、もしかしたら、 もっと多くの成果を残せるかもしれません。し かし、それでも教育にチャレンジしていきたい。 教育にも研究にも終わりはありません。せっか く挑戦するのであれば、残された人生を難しい と感じることに費やしていきたいと思っていま

物理学にポジティブな思いを 抱いてもらうために

一般教育科目の授業「実験付き自然科学入 門」では、ばか山(本館前芝生エリア)でペッ トボトルのロケットを飛ばしてみることから始 めます。最初は、「どうすればより高く遠くへ 飛ぶのか」は説明しません。学生たちは、ペッ トボトルの中に粘性の液体を入れてみたり、重 いものをいれてみたり、各自でいろいろ工夫し ます。一番飛んだときは、チャペルの屋根まで 飛んで叱られたこともありました。そしてひと 通り実験が済んだあとに、その現象を物理学で 説明していくのですが、そうすると、ほとんど の学生は簡単に理解することができます。

物理学者を育てるのであれば、基礎理論から やったほうがいいのかもしれません。ただ、こ の授業は、「今まで物理に対してネガティブに 思ってきたけど、もう一回物理を学んでみよう かな」という学生に向けたものです。幸いなこ とに、授業後の調査では、「中学高校ではなぜ こういう授業をやってくれなかったんだろう」



また、将来自分の子供が物理に興味を持った ときに「物理、面白いよ」と前向きに後押しを してあげられるようになったらいいなとも思い ます。物理学が、先入観でネガティブに捉えら れてしまうことを、世の中から少しでも減らす ことが、まず取り組むべきことではないかと思 っています。

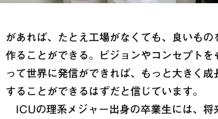
現在の研究と、今後へ向けて

研究室では、ダイヤモンドにホウ素を加えて 作るブルーダイヤモンドの研究や、月明かり程 度の明るさでも昼間のように撮影することがで きる超高感度カメラの研究をしています。一つ の例として、紫外光(UV) を利用した発電研 究があります。現在はUVをカットして、外へ 追い出しますが、将来的にはUVを電気にかえ て、利用することを研究しています。これまで 捨てていたエネルギーを使えるようになります。 必ずしも発電パネルとして使われる必要はあり ません。たとえば飛行機の窓の外側にパネルを セットすることで、外が明るいときには電圧が 発生して自動でオンになり、暗くなってくると 電圧がなくなり、素通しに戻る「オートシェー ド」などにも使うことも視野に入れています。

例えば、米Appleは製品を自社工場でほとん ど製造しないにもかかわらず、世界中で大きな シェアを持っています。コンセプトやビジョン

があれば、たとえ工場がなくても、良いものを 作ることができる。ビジョンやコンセプトをも って世界に発信ができれば、もっと大きく成長

ICUの理系メジャー出身の卒業生には、将来 へのビジョンやコンセプトをもって、Appleの ような発想をもち、考え出した発想を具現化し て活路を見出してほしい、と望んでいます。 「第二のApple」を構想し、自ら作り上げてほ しいし、世界中のどういった技術をどのように 組み合わせて、どう展開したら売れるのかにつ いても、ぜひ考えていってほしいと思っていま



物理学メジャーのデータ

●開講されているクラス(一部、2018年度現在) 基礎物理学

現代物理学AまたはB 基礎物理学実験 現代物理学実験 最先端の物理学 など

●担当教員(2018年度現在) 平島 大 HIRASHIMA, Dai

ヒッツェル, エクハルト HITZER, Eckhard 岡野 健 OKANO, Ken 岡村秀樹 OKAMURA, Hideki 手束文子 TEZUKA, Ayako

三井住友トラストVISAゴールドカード 通常年会費75%割引!!



期間限定キャンペーン実施中

期間中にご入会された方全員に

VJAギフトカード1.000円分を プレゼント!!

本会員・家族会員同時にご入会の場合は、 2,000円分プレゼント

キャンペーン期間:2019年6月30日迄



★ ご家族の方でも本会員申込みOK!

★ 同窓会にもメリット!!

カード利用額の一部が同窓会に還元!

★ ゴールドカードの主なお役立ちサービス

*海外・国内旅行傷害保険 *お買物安心保険

*空港ラウンジサービス *ドクターコール24

*ワールドプレゼント など

※1 本会員年会費は左記のとおり割引です。家族会員年会費は、1,000円+税です。 ※ご入会にあたっては、当社所定の審査がございます。

申込書請求先 (MAIL、FAXの方は、ICU同窓会員である事に加え①名前②住所③電話番号をご送信下さい)

0120 - 370 - 070 **25** TEL T FAX 03 - 6737 - 0834

 MAIL Moushikomi@smtcard.jp メール申込の方はこちらで簡単にできます。→→ (取得した個人情報はVISAカード入会申込書を送付する事に限定いたします。)





お電話受付時間:平日9:00~17:00(土・日・祝日・12/30~1/3休)

営業推進部

From the University

大学のページ

第4回を迎えた大学事務部署紹介。今回は、学生たちを食事の面から支えている大学食堂です。大学食堂は、本学からの業務依託を受けている、東京ケータリング株式会社が運営を行っています。大学食堂の概要、新しい取り組み、そして人気メニューなど大学食堂の姿を紹介します。
This is the fourth installment of a series of articles to introduce university offices. This time, we report on the Dining Hall, which supports students with their diet. It is operated by Tokyo Catering Co., Ltd. under an outsourcing agreement from the university. We will introduce an outline of the Dining Hall, new initiatives, and popular menu choices.

大学食堂 (東京ケータリング株式会社 運営)

文:東京ケータリング株式会社 石野宏樹

大学食堂の今

現在の大学食堂は、2008年7月に旧食堂を取り壊し、同じ場所に新しい建物を建て、2010年9月にオープンしました。窓が大きく非常に開放的な建物で、内部はレストランゾーン、カフェゾーン、ラウンジゾーンに分かれていて、座席数は478席です。学期中の平日の営業時間は7時30分~20時00分。総勢22人(調理スタッフ16人、フロア・販売スタッフ6人)のスタッフで



レストランゾーン Restaurant zone

日々の食堂としての営業以外にも、大学 礼拝堂で挙式を挙げた卒業生の結婚披露 宴、同期会、クラブ・サークルのOBOG会、 さまざまな学会の懇親会なども行っていま すし、アラムナイハウスで行われるイベン トへのケータリングも行っていて、これら ケータリングは年間200件ほどに及びます。

大学食堂の最近の取り組み

大学食堂として、利用する学生の満足度 を高めるため、さまざまな取り組みも行っ ています。

例えば、2週間に1~2日の頻度で、麺類を中心としたご当地メニューの提供を行っています。これまで、勝浦タンタンメン、旭川ラーメンなどを提供し、特に醤油ベースで刻んだたまねぎをのせることが特徴の八王子ラーメンは非常に人気がありました。その他、学生に人気のある井ぶりものの企画「週替わりの丼物フェア」も半年に1回程度実施していて、牛バラ旨煮丼(牛バラ肉と野菜を中華だしを使い煮たもの)や洋風カツ丼(デミグラスソースをカツにかけたもの)などが人気でした。

大学所在地である三鷹の野菜を使った地産地消メニューも提供しています。以前から、三鷹市内の農家から購入した野菜をサラダなどに利用してきましたが、フェアトレードの普及に関心のある学生から、地産地消のメニューを提供して欲しいとの要望を受け、2016年7月に第1弾として、三鷹産の野菜を使用した「食べてみたカレー」を提供しました。野菜の収穫量が天候に左

運営していて、食器洗いやキッチンの清掃、カフェ売店での販売では、学生アルバイト10人にも協力してもらっています。

最も忙しい時間帯はお昼時で、食堂はいつも満席となり、1日に1000食以上を提供しています。食事代の精算は、混雑緩和を目的に現金をチャージしたIDカードを使い、オートレジ(自動精算機)で支払う方式を採用しています。オートレジにはカロリーなども表示されるので、学生の健康意識の向上にも繋がればと願っています。



カフェゾーン Café zone

右されるため、定期的に提供することは難しいのですが、 $2 \sim 3$ ヵ月に1回程度で地産地消メニューを提供しています。

その他、フェアトレードコーヒーの取 り扱い、対象となるメニューを注文する と、1食あたり20円分が「特定非営利活動 法人TABLE FOR TWO International」を 通じて開発途上国の子どもの学校給食にな る「TABLE FOR TWO」プログラムの実 施、そして年1回世界難民の日である6月 20日頃に、難民の故郷の味を提供し、1食 あたり50円を難民支援活動に寄付を行う 「Meal for Refugees」という活動を学生と ともに展開しています。2018年は、5月 28日~6月8日の2週間の間に、バングラ デシュのエッグカレー、ミャンマー(ビル マ)のきなこ入りサラダうどん、主にアゼ ルバイジャンやイラン北西部で暮らす民族 アゼリのトマトソースの肉じゃがを提供し

また、多様性あふれるICUならではですが、世界各国からの学生が食堂を利用するため、中には宗教上の理由から、前述のようなメニューを食べることができない学生がいます。こうした学生には、可能な範囲で個別のニーズに応じた食事の提供を行っています。

こうした活動を通して、ICUの理念である「国際的社会人としての教養をもって、神と人とに奉仕する有為の人材を養成し、恒久平和の確立に資すること」に、大学食堂として少しでも貢献ができればと思うとともに、利用者の皆様に満足いただける食堂を目指しています。





ラウンジゾーン Lounge zone

人気メニュートップ3

大学食堂で人気があるメニューは、丼物などのご飯ものです。その中で、最も提供数が多いのは、昔も今も変わらず不動のカレーライスです。昼食時だけでなく、夕食として提供することも多く、200食販売する日もあります。カレーライスに続くのが、鶏竜田おろし丼、そして、ポークロベール*です。新しいメニューを導入したりはしていますが、この3つを超えるメニューはなかなかあらわれません。

(*ポークロベール:たまねぎを良く炒め、 白ワインやヴィネガーなどを加えたソース で豚肉を煮込んだ料理)

卒業生との思い出 ---- 大学食堂の味-

大学食堂で結婚披露宴をされる卒業生の 中には、フルコースの食事のほかに、懐か しいのでカレーライスも提供して欲しいと いう要望が時々あります。また、お花見や 紅葉のシーズン、ICU祭などで、在学時に よく食堂を利用していただいた顔なじみの 方々が食堂に戻ってきてくれます。その中 には「自分の身体の80%はガッキ(大学 食堂)の食事でできている」とか、「こん なに安かったっけ」と言って、久しぶりに 食事をされて帰る方もいます。大学生活の 一つの思い出として食堂の味が皆さんの記 憶に残っていることを本当にうれしく思う とともに、今後も学生の皆さんによりよい 食事を提供し、思い出に残る食堂であり続 けられればと思っています。



オートレジ Automated cashie

今後、大学食堂やアラムナイハウスでの同期会、ELP/ELAのセクション会、クラブ・サークルのOBOG会などを開催する場合は、ぜひ大学食堂の利用をご検討いただければと思います。会場予約の詳細は、大学の総務・法人部管財グループ (0422-33-3030) にお尋ねください。



1 カレーライス 300円 Curry with Rice 300 yen



2 ^{鶏竜田おろし丼 380円} Tori tatsuta oroshidon 380 yen



3 ポークロベール 330円 Porc Robert 330 yen

Dining Hall

(operated by Tokyo Catering Co., Ltd.)

Text: Hiroki Ishino, Tokyo Catering Co., Ltd

The Dining Hall Today

The current Dining Hall opened in September 2010 after the demolition of the old dining hall in July 2008 and the construction of a new building on the same site. It is a very open building with large windows, and the interior is divided into restaurant, café and lounge zones, with a total seating capacity of 478. Weekday service hours during term are from 7:30 a.m. to 8:00 p.m. The Dining Hall is operated by a total of 22 staff (16 kitchen staff and six floor and sales staff) with 10 part-time student employees helping with dish washing, kitchen cleaning, and café sales.

The busiest hours are during lunch times when the Dining Hall is always full, providing over 1,000 meals a day. It has adopted a payment method that uses cash-charged ID cards in which payments are made at an automated cashier to mitigate congestion. The auto-



八王子ラーメン Hachioji Ramen

as possible.

Through such activities, the Dining Hall hopes to contribute to ICU's mission of cultivating capable individuals, educated as internationally minded citizens, who will serve both God and people and who will contribute to lasting peace. The Dining Hall also aims to become a facility that satisfies all users.

Top Three Popular Dishes

Rice bowls are popular in the Dining Hall. The item that is ordered most is Curry with Rice, an unshakable favorite now and in the past. It is offered not only during lunch times but is often inmated cashiers also display the calorific content of dishes and we hope this will lead to an improvement of students' health consciousness.

In addition to its daily operations as a dining place, the Dining Hall also provides services for wedding receptions for alumni marriages at the University Chapel, class reunions, club and circle meetings, and social gatherings of various academic meetings, as well as catering for events held in the Alumni House. Such catering services are provided for a total of approximately 200 occasions, annually.

Recent Initiatives of the Dining Hall

Various initiatives have been taken by the Dining Hall to increase the level of satisfaction of user students. For example, noodles and other local dishes are provided one to two days every two weeks. To date, they have included Kat-



牛バラ旨煮丼 Gyubara umanidon

cluded on the dinner menu, sometimes selling 200 servings per day. Following Curry with Rice is Tori tatsuta oroshidon (rice bowl topped with deep fried chicken and grated daikon radish, and then Porc Robert*. New items are being introduced but dishes exceeding these three in popularity are difficult to find.

(*Porc Robert: Pork simmered thoroughly in a sauce of well-sautéed onion, white wine, and vinegar.)

Alumni Memories—The Flavors of the Dining Hall

Among alumni who hold wedding receptions in the Dining Hall, there are some

suura tantan noodles and Asahikawa ramen, as well as soy-sauce-based Hachioji ramen featuring a minced onion topping, which was particularly popular. A rice bowl dish fair, beloved by students, is also held every six months. Gyubara umanidon (rice bowl with beef flank and vegetables cooked in Chinese soup stock) and Yofu katsudon (rice bowl topped with cutlet and demiglace sauce) have been among the menu favorites.

A local-production-for-local-consumption menu using vegetables harvested in Mitaka, where the university is located, is also provided. The Dining Hall has been using salad vegetables purchased from farmers in Mitaka. After receiving requests, from students interested in promoting the awareness of fair trade, to provide dishes locally produced for local consumption, in July 2016 as the first of such dishes, "Tabetemita Curry" using vegetables harvested locally in Mitaka was offered. Although it is difficult to regularly provide such dishes because vegetable availability is influenced by the weather, local-production-for-local-consumption menus are offered about once every two



洋風カツ丼 Yofu katsudon

that make requests to have Curry with Rice on their menu, in addition to fullcourse meals, saying they feel nostalgic about the Curry. Also during the cherry blossom and autumn foliage seasons and during the ICU Festival, familiar faces, those who often used the Dining Hall when they were studying at ICU, reappear in the Dining Hall. Some of them even say things like 80% of their bodies are made up of Dining Hall meals or ask if prices were always so cheap, and have meals for the first time in ages. We are truly happy that the flavors of the Dining Hall remain in their minds as memories of their university lives. We

to three months.

Other initiatives taken with the students include offering fair trade coffee, implementing a Table for Two program in which if you order specific items, 20 yen will be donated from the sale with the money being used to provide school lunches for children in developing countries through a nonprofit organization, Table for Two International, and the operation of Meal for Refugees once a year on or around June 20, World Refugee Day, which offers dishes typical of the homelands of displaced people, with 50 yen from the price of each meal being donated to support refugee activities. In 2018, during the two weeks from May 28 to June 8, Egg Curry from Bangladesh, Salad Udon Noodles with Kinako Roasted Soybean Flour from Myanmar, and an Azeri-dish, Meat and Potato in Tomato Sauce, mainly from Azerbaijan and northwest Iran, were offered.

At the same time, typical of ICU's diversity, students from all around the world use the Dining Hall. As such, there are students who cannot always eat the regular items due to religious reasons. To such students, dishes are offered that meet their individual needs as much



大学食堂のスタッフ。塩田和子、料理長西山富彦、石野 宏樹(写真左から)

Dining Hall staff (from left to right) Kazuko Shiota, Head Chef Tomihiko Nishiyama, Hiroki

hope to continue providing even better dishes to all students and being a Dining Hall that remains in memories.

When you organize class reunions, ELP/ELA section meetings, and alumni club and circle meetings in the Dining Hall and Alumni House in future, we hope you will consider making use of the Dining Hall. For reservation details, please contact the university's Property Custodian & Purchasing Group of the General and Juridical Person Affairs Division (+81-422-33-3030).

大学食堂の概要

●人数:料理長 1人 調理スタッフ 16人 フロア・販売スタッフ 6人 学生アルバイト 10人

● 営業時間:

〈学期中〉

月~金 7:30 ~ 20:00 (食事提供 7:30 ~ 9:30、11:00 ~ 19:30)

土・日 9:30 ~ 15:00(食事提供 11:00 ~ 14:00)

〈学期外〉

月~金 9:30 ~ 19:00 (食事提供 11:00 ~ 19:00) 土・日 9:30 ~ 15:00 (食事提供 11:00 ~ 14:00)

Dining Hall Outline

● No. of staff: Head Chef: 1

Kitchen staff: 16 Floor and sales staff: 6 Part-time students: 10

Operating hours:

[During terms]

Mon.-Fri. 7:30 a.m.-8:00 p.m. (Meals served: 7:30 a.m.-9:30 a.m., 11:00 a.m.-7:30 p.m.)

Sat.-Sun. 9:30 a.m.-3:00 p.m. (Meals served: 11:00 a.m.-2:00 p.m.)

[Outside terms

Mon.-Fri. 9:30 a.m.-7:00 p.m. (Meals served: 11:00 a.m.-7:00 p.m.)

Sat.-Sun. 9:30 a.m.-3:00 p.m. (Meals served: 11:00 a.m.-2:00 p.m.)

From The Alumni House

ニューヨーク支部・JICUF 合同新年会報告



1月11日、マンハッタンにて、ニューヨーク支 部・JICUF (日本国際基督教大学財団) 合同の 新年会が開催されました。 今年は1期から現役の 63期までの同窓生40名以上が集合し、ここ数年 で一番の大盛況となりました。おいしい料理を囲み ながら、世代を越えてお互いの近況報告や今後の 抱負などを語り合ううちに楽しい時間はあっという間 に過ぎていき、みなさんに会の終了を告げるのが 心苦しいほどでした。今回も旧交を温めつつ、思 いがけない再会があり、新たな出会いもあり、ICU というつながりを基に、2019年の始まりを共に祝う 一晩となりました。

ニューヨーク支部は、初めてこちらにいらした同 窓生、出張中の方、ICU高校卒業生、大学院卒 業生、OYRから、もちろん現役生まで歓迎します。 お問い合わせは、ny-chapter@icualumni.com まで。facebook NY Chapter group pageも ご参照ください。https://www.facebook.com/ groups/icunewyork/

1期会報告 文:金澤正剛(1)



2018年10月6日(土) 正午から、1期生の有志 31人がアラムナイハウスの2階に集まり、久しぶり に近況を語り合いました。中にはアメリカからわざわ ざ戻ってきてくれた方も2人居て、そのうちの1人、 ロレンス露木君が集合写真を撮ってくれました。毎 年通り日比谷学長や北城理事長から、ICUの近況 を聞くことも出来ました。3時間はあっという間に過 ぎて、2019年10月5日(土) の再会を期待しつつ 散会しました。1期生で迷子になった方で来年の期 会に興味のある方は、金澤までメール (kanazawa@icu.ac.jp) でご連絡ください。

7期会報告 文:吉井孝(7)



「朋あり遠方より来るまた楽しからずや」

「卒業55周年リユニオン」と銘打った7期の集ま りが、10月28日から29日に、伊豆長岡で開催され ました。最年少者も喜寿を迎え、7期全員対象の 「リユニオン」は多分今回が最後であろうと、同窓 会事務局のサポートも戴き、入学時162人のうち 国内97人、海外16人の計113人に案内を出した ところ、諸般の事情もあり参加者は国内26人、海 外(プリンストン、シアトル、バークレイ、サンノ ゼ) から4人となりました。

よわい重ねて喜寿を過ぎ いろもおのずと移ろわん

髪は少なく皺多く 変貌するは世の習い 卒業以来の再会に 受付戸惑う一幕も 外つ国からの四名を 迎えて集える七期生 伊豆に宿かる秋の夜は 月もさやかに輝きて 肥後より来る能楽師 「高砂」演じて開宴す

遠来および同期会には久しぶりの参加者より近 況報告や、卒業以来に積み重ねた人生模様の披 露がありました。席を移した2次会では最近の世相 に関する談論風発、思い出話に花を咲かせて旧交 を温める場となり、アラ傘寿の我々はまだまだ若い。 元気で日々エンジョイし長生きしましょうとなりました。

Financial ICU支部 夏の集い **Learning X Networking** - Summer 2018開催報告



Financial ICU支部では9月11日に中央区日 本橋でセミナー×懇親会形式の「Learning & Networking」を開催いたしました。当日はID78 からID22まで32人が参加し、そのうち学生が4人 でした。

第1部のセミナーでは、ID88のエコノミスト榊原

可人さん (ソレイユ・グローバル・アドバイザーズ・ ジャパン(株)インベストメント・ディレクター)に、 『日本経済の新しい見方ー赤字でも財政出動が正 しい理由』と題してお話しいただきました。日本の 財政問題からや日本企業のアニマル・スピリットの 不足についてまで、大変刺激的で考えさせられるこ とが多い内容でした。

第2部の懇親会では、初対面でも年代が違って いても、ICUで学んだという同じバックボーンがあ るので直ぐに打ち解け、22時の閉会時間を忘れる

Financial ICU支部は、金融業界や財務関係 のOBOGのICU同窓生にビジネスやキャリアデベ ロップメントに活かせる交流の場を提供し、また大 学や後輩学生のためのサポートを提供しようという 目的で設立されました。今後とも、卒業生の Networking & Learningの2本柱と大学、学生 への支援を中心に、卒業生と学生のみなさんが刺 激を感じられるような活動をして行きたいと考えてい

Peace Bell Scholar支部 卒業生・現役生懇親会報告



9月8日(日) 夜、新宿にてPBS (Peace Bell Scholar)の卒業生・在学生が集う懇親会を開 催致しました。当日は、56期(ID12) から66期 (ID22) までの卒業生・在学生に加え、PBS支 部設立にご尽力頂いた長谷川攝さん(24 ID80、 大学・募金部担当副会長)にもご参加いただき、 総勢22人が集まりました。 初めて会うという方も多 くいる中、当日は、学年の垣根を越えて話に花を 咲かせ、1次会・2次会共に大いに盛り上がりまし た。横の繋がりはもちろんのこと、普段はなかなか 接することの無い異なる学年同士(縦)の繋がりを 広げることができ、有意義な時間になったのではな いかと思います。

PBS支部は、PBSとその寄付者、同窓会との 持続的な交流の機会を設け、PBSの認知を図ると ともにその継続に繋がる活動をしていくことを目的 に、2017年7月に設立されました。これまで、 ICU祭でのPBS・ドナー(寄付者)の方々による 座談会の開催や、PBSとドナーの距離をより縮め るためのICU PBS報告書のコンテンツ見直しなど を行ってきました。今回の集まりでPBSの繋がりを 深めることができたのをきっかけに、ドナーの方々よ り託された想いを次世代へと伝えるべく、今後、支 部の活動を更に活発化していきたいと思っています。

テニス部OBOG会支部会報告



ICU創立年にテニス部は発足しました。現在1 期から65期まで、600人以上のテニス部所属部員 がOBOG会員です。

11月25日(日) にICU食堂で2018年度のリユ ニオン&支部総会が開催されました。テニス部顧問 の磯崎三喜年教授、学生サービス部の岸本誠部 長をお招きし、現役16人を含む約70人の和やか なリユニオンでした。

現役部員が少なく、コートの維持管理費用が足 りない部分をOBOGの寄付でカバーをすべく、本 年より大学の協力を得て特定寄付控除を得られる 仕組みで募金を開始。今回は355,000円を寄付し

2019年は11月17日(日) に開催です。 今回、 前回参加の少なかった30代、40代にもっと参加し ていただくべく活動中。なお、テニス部OBOG会 リユニオンは毎年還暦を迎える代が幹事となってお ります。

ドイツ支部会報告



何度か前にも試みては、時期的に成立が無理だ ったのですが、今回、とにかく少人数でも集まれる 方だけでも、と連絡を何度か重ね、ようやく集まり をもつことができました。なにしろ支部担当者にさえ メンバーリストが渡らないという全く不便な「守秘」 とやら。また連邦主義のドイツでは州によって休日 も違うという事情、案外大きい国ですから移動もそ れ程簡単ではありません。いずれにせよ今回は連

自然と遊ぶ、仲間と遊ぶ 名言語白然土」、プ パかり タロ品日 公 十 ヤノ

小学生~大学生年代を中心に、多言語・多世代の人々が 自然の中で活動し、国や文化の違いをこえて友情を育む プログラムです。

【国内キャンプ】(3泊4日・長野・小4~大人)

●雪の学校:雪の活動と多世代・多言語交流。 ●Nature Camp: 夏山体験と多世代・多言語交流。

【海外キャンプ】(1週間前後・8月開催)

- ●アジア青少年多言語自然キャンプ&ホームステイ
- 中1~大人。タイでの自然体験と現地家庭でのホームステイ。
- ●アジア青年多言語合宿&ホームステイ
- 高1~大人。上海の研修施設での合宿と現地家庭でのホームステイ。



Multilingual Natural Immersion どんなことばにも関かれた心を育るるのであっ





多言語を学ぶ意味

大和田康之 (国際基督教大学 1期生)

私がこれからを担う真のリーダーシップについて 必要だと思うのは「多言語を話す」というスタン

スです。多言語を話すということは、「違ったことば、価値 観を持った人を自分の中に受け入れる」ということです。 それは自分が人間としてより豊かになることです。ヒッポで はまず相手の言語を大切にしようというスタンスで手言語を 学んでいます。そんな世界がひろがっていくことに、ことば を学ぶことの本質的な意味があるのではないでしょうか。

● お問い合わせは、下記フリーダイヤルまたはホームページから

TEL.03-5467-7041 http://www.lexhippo.gr.jp/



絡がとれ、お返事があった方々がわが家に来ていただきました。素晴らしい秋の土曜日、午後をご一緒しました。また別の機会も、是非近く設定したいとおもっています。いろいろな活動をしている卒業生がいらっしゃる、と話に花が咲きました。

トロント同窓会報告

文:松田美穂(13)



紅葉の綺麗なトロントで、11月2日トロント、ICU同窓会が開かれました。13期から53期(ID09)まで8人が出席。"思いがけない出会い"もあり、話題はつきませんでした。

パリ支部パリ駅伝参加報告

文:小川陽子 (37 ID93)



パリの秋には珍しい晴天のもと、毎年11月の第 1日曜日に開催されるパリ駅伝に参加し、ICUチームとして無事に完走しました。

今回はパリ支部の心強い後援のもと、ランナー全員がICU卒業生とそのファミリーというチーム編成*。支部で取り寄せた同窓会「謹製」の手拭いを鉢巻きにして、怪我もなく、しかも前回よりも良いタイムと順位(42.195kmを3時間23分57秒/一般部門1136チーム中434位)でゴールすることができました。そして、なんと言っても「応援団」の存在が大きかったのです。寒い路上でICUの青旗を掲げて温かい声援でランナーの士気を上げてくれただけでなく、事前に各選手の想定通過時間を表にまとめ、ランナー全員に声援が行き渡るようにとの嬉しい心配りを見せてくれました!

「同窓会の意義はこのような催しを通して新旧の世代が出会うこと」と言われますが、20~70代のパリ在住同窓生がこうした「催し」を通じて出会い、同窓生としての一体感を味わう事ができ、楽しい時間を過ごせた事に感謝します。2019年も参加予定です。ご興味がおありの方、お問合せはパリ支部準備委員まで。

icu-paris-junbiiin@googlegroups.com
* ICUチームの編成は、第1走者から順番に、津崎良典 (44 ID00)、戸谷俊介 (ICUファミリー)、櫻田玲子 (53 ID09)、ドミニック・ベルナール (ICUファミリー)、めぐみ・マリオン (旧姓行澤) (33 ID89)、小川陽子 (37 ID93) で、代走者リストには、岡史子 (43 ID99)

基督教伝道献身者の会支部会報告



9月17日に、大学礼拝堂およびアラムナイハウスで「ICU基督教伝道献身者の集い」が開催されました。宗務部の声かけにより1999年に初開催されてから3回目となる今回は、牧師・司祭、教務教師、キリスト教教育機関の代表、キリスト教団体専任職員等の仕事に仕える同窓生とご家族の約60人が集まりました。チャペルでの記念礼拝では、松谷曄介氏(47 ID03、日本基督教団筑紫教会牧師)が説教を行い、懇親会では、2018年に天に召された、長(武田)清子教授、古屋安雄

牧師・教授ら故人ゆかりの「ICUの『C』クイズ」 で盛り上がるなど、世代を越えたキリスト者達の交 流の時となりました。

集まった卒業生の背景は、カトリック、聖公会、 ルーテル教会、バプテスト、改革派、福音派、日 本基督教団、無教会等、多岐にわたりますが、そ れぞれの多様性を尊重し、ICUファミリーならでは の笑いに満ちた親睦を深めました。

今回の集まりを機会に、ICU基督教伝道献身者の会が同窓会支部となりました。支部長は有馬平吉さん(18)です。今回の会のご案内が届いておらず、ご自身で該当すると思われる牧師・司祭、教務教師、キリスト教教育機関等の代表の方はご一報ください。

Icudendokenshinsha-chapter@icualumni.

香川支部ICU人類学調査実習 支援報告

文:浜崎直哉 (37 ID93)



8月1日(水)から8月9日(木)にかけて、ICUの授業(担当教員 森木上級准教授)として、香川県の豊島で、ICUの現役学生による人類学調査実習(ANT311」人類学調査実習I)が行われました。今回の研究テーマは瀬戸内国際芸術祭やこえび隊(瀬戸内国際芸術祭のボランティア)でした。私は瀬戸内国際芸術祭を支援しているNPO法人「アーキペラゴ」と長年かかわりがあり、こえび隊としても活動していたので、事前に情報収集・提供をすることができました。8月の実習では、初日に行われたアーキペラゴによる「豊島ゼミ」を受講したり、日曜日に2時間弱、豊島の周辺をヨットでクルージングしたりして、ICUの教員、学生との有意義な交流ができました。

「豊島ゼミ」では、豊島の産廃問題の当事者の島民の方を語り部として講師に招き、実際の廃棄場所も視察して、その後学生との意見交換を行いました。学生からはたくさんの質問が出て、予定を超えて熱心な議論の場となりました。クルージングでは、17人乗りのヨットに乗るという、学生にとってほぼ初めての経験となり、忙しい調査実習の中で良い気分転換の場となったと思います

この支援が行えたことは、たいへん意義深いものでした。実習に先立ち、私もほぼ25年ぶりにICUで授業を受けられたこと、学生の豊島ゼミでの議論の熱心さに感銘したこと、クルージングでいろんな学生と話ができたこと、そして、後輩たちに良い働きかけができたことが、やはり卒業生として本当に嬉しいものでした。

今後こういった機会があるかわかりませんが、香 川支部としては積極的に支援を行っていきたいと思 います。

長 (武田) 清子先生を偲ぶ会報告 文: 木越純 (27 ID83)



2018年4月12日に満100歳で天に召された長 (武田) 清子先生を偲ぶ会が、去る9月8日にICU キャンパスで開かれました。ICU生は愛弟子の1期 生から孫弟子に当る現役生まで、それに大学関係 者や先生が生前に関わってこられた様々な団体から もご参加があり、参加者は200人をゆうに超えました。

第1部は、祈りと追悼。開会は世話人会を代表

して1期生の北代淳二さん。続く祈祷は3期の棟居勇牧師、聖句はヨハネによる福音書の「真理はあなたたちを自由にする」でした。追悼の言葉は、先生とご縁の深い大口邦雄元学長とウィリアム・スティール先生、そして日本宋美齢基金会の久保田博子様。4期の小澤浩さんから、先生の思想史研究の展開について伺う事ができました。自分が先生に就いていた頃の講義や輪読やシンポジウムの意味が、今にして判った気になりました。

第2部は、思い出と懇親。幾人もの教え子やお親しい方々から、ICU創成期の頃のエピソードや先生に教わった事、或いは思いがけない逸話などをご披露いただきました。ご長男の長幸平さん(東海大学教授)からは、家族の想いのこもったユーモアに溢れたお話を伺う事が出来ました。締め括りに先生の晩年のお言葉をご紹介いただきました。「私の人生の歩みをふり返ってみますと、内外の実にいろいろな方々に出会う機会を与えられ、その交わりからいかに多くを学ばせていただいてきたか、今さらのようにその記憶がよみがえってくるのを覚えました」(自伝「出逢い・人、国、思想」キリスト教新聞社、あとがき)

100年のご生涯を通じて、常に人に向き合い人 との出会いを大切にしてこられた先生に、改めて励 まされた気がしました。ICUで学べて良かった、恩 師と呼べる方と出会えて良かった、と思えたひと時 でした。

美術部OB・学生合同展を開催

文:岩田岳久(21 ID77)



美術部OB会支部は、ICU祭に合わせて2010年より隔年で開催している「OB・学生合同展」を2018年も本館2階のラウンジで開催しました。今回は、OB12人と学生2人の作品を展示するとともに、創作折り紙の実演と指導も行い、晴天に恵まれたこともあって大勢のお客様にご覧いただくことができました。

現在ICUでは美術系クラブが活動休止状態にあるため、個人で制作している1・2年生と会場で話をして、2年後の合同展に参加してもらえることになったのも成果の一つでした。次回はさらに多くのOBに出展いただけたら幸いです。

ICU史再考プロジェクト

文:根本敬 村田広平(共に 24 ID80)

「ICU史再考」プロジェクトは、ICU史を振り返りつつ、その中でも特に1966年から70年をピークに、学内でICUのあり方をめぐる激しい対立が生じた時期に関して検証し、共に語り考えることを目的にしています。いわゆる「ICU大学紛争・闘争」なるものが、なぜ起こり、どのような経緯を経て、いかなる影響を現在までのICUにもたらしているかを多角的に見ていこうとするものです。今までに、私たちは1期、7期、12期、13期、17期(大学により鉄柵が設置されるに至る1969年の入学)の方をはじめ、元教員で当時をよく知る方、24期よりずっと若い卒業生、現役学生からもご意見も伺うことができました。

1969年入学の方や、1965から72年までICUに在籍された元学生からは、紛争当時をもう思い出したくない、という言葉を聞き、ICUの大学紛争の傷の深さが窺われました。紛争問題の「総活」を怠ったことは、ICUの現状に影響を及ぼしていないでしょうか。また現在まで、ICU出身者、大学職員の方々はこうした歴史についてどのように聞き、どう感じてこられたのでしょう。

129号で大学が設置した「バリケード」のことを 18期の方が書かれていました。できれば、その直 接の原因を一番知り、当時の学生運動を主導した 「全共闘」メンバーだった方々から連絡をいただきたく存じます。また、どなたでも関連資料を持っていらっしゃる方がおられれば、ぜひご一報ください。また、このようなプロジェクトを進めることに関するご意見をお送りください(卒業年や在学時期は一切問いません)。この問題を共に考えませんか?サイトURL:https://reconsidering-icu-history.jimdo.com/

連絡先:reconsidering.icu.history@gmail.com(ICU史再考プロジェクト)

同窓生向けメールサービス 「@alm.icu.ac.jp」のご案内

2015年度から、大学では学生・教職員のコミュニケーションツールとしてGmail (@icu.ac.jp) が採用され、卒業する際に卒業生全員にアドレス(@alm.icu.ac.jp) が提供されるようになりました。2014年度以前の卒業生もこの卒業生用アドレス(@alm.icu.ac.jp) を無料でご利用いただけます。

卒業生用のドメインは@alm.icu.ac.jp。 大学などの高等教育機関向けであるac.jp のサブドメインです。是非ご利用下さい。 詳しくは、以下で。

https://www.icualumni.com/ to_alumni/mailservice/

留学生のホストファミリーを 募集しています!

文: 国際基督教大学

グローバル言語教育研究センターサマーコース事務室

国際基督教大学では、毎年、7月から8月にかけて、約100人の留学生を迎えて、夏期日本語教育を開催しています。そのうちの10名程度が近隣でのホームステイを希望しています。期間は6週間です。

条件:学生用の個室と食事(朝夕2食)の 提供、通学時間1時間以内に在住 受け入れ期間:2019年7月以降~6週間

【お申込み・お問い合わせ】

(延長の可能性あり)

株式会社ネクステージ ホームステイインジャパン

TEL: 03-3866-0139 (平日10:00 ~ 19:00/祝休)

E-mail:

E-mail: support@homestay-in-japan.com

寄付者御芳名 Donors

齋藤顕一(17)

奥村尚子(29 ID85)

内村昌幸(33 ID89)

ファミリーカイロプラクティック三鷹院

貴重なご寄付を賜り、誠にありがとうございます。

たずね人 Missing

池田英人(35 ID91)

深見淳(43 ID99)

田中智己(49 ID05)

古川真宏 (53 ID09)

金ボラム (55 ID11)

市村脩一郎(57 ID13)

動静をご存知の方は事務局までご一報ください。

訃報 Obituary

亀田和子 特別会員

濱田眞男(1)

土屋光雄(1)

勝山英司(4) 高田(増田) あけみ(6)

芦田(加藤)和子(9)

9日(加藤)和丁(9)

山崎(館村) 和子(12)

持田公子(14)

矢部なおみ(18)

渡邉英彦(25 ID81) 川野(加藤) 恵(26 ID82)

小林祐子 院1965

心よりお悔やみ申し上げます。

3月30日

2019年3月30日開催 桜祭りのお知らせ Sakura Matsuri 2019 Will Be Held on March 30, 2019

桜の下で会いましょう Let us meet under the Cherry Blossoms

今年も春の訪れとともに、同窓会「桜祭り」を開催します。今回14回目を迎える同窓会「桜祭り」は、同窓会年次総会、DAY賞表彰式、卒業50周年記念式典、懇親会など、年に1度の同窓会総合イベントです。今年の卒業50周年記念式典には13期生の皆さまをお招きします。

たくさんの同窓生の皆さまが、この機会に桜咲くキャンパスに足をお運びになり、 懐かしい方々との旧交を温めてくださいま すように。お知り合いの同窓生にもお声か けの上、ご参加をお願い申し上げます。

当日は、同窓生が南アフリカで作るICU ワイン「Musashino Cross」や、同じく同 窓生の蔵元が作る日本酒「ばか山」をはじ め、新作の楽しいICU同窓会グッズも多数、 用意しております。

DAY賞(Distinguished Alumni of the Year Award)は、ICUに在籍したことのある人(卒業生・留学生・旧教職員を含む)の中から、大学、および、同窓会の知名度・魅力を高めることに貢献した方に対し、その功績を称えるため毎年授与されるもので、今年は5人の卒業生に授与されることになりました。

With the coming of spring, the Alumni Association will again host the Sakura Matsuri. This 14th Alumni Association sponsored festival is a once-in-a-year event, comprising of the annual General Assembly, the Distinguished Alumni of the Year Awards, fifty years since graduation cerebration, reunion reception amongst others. This year, semicentennials who graduated in 1969 will be invited.

We hope that many ICU alumni will return to the campus to enjoy the cherry blossoms and renew old friendships. Please get in touch with other alumni and come together.

Amongst the beverages, Musashino Cross, a South African wine produced by an alumni couple, and Bakayama, a Japanese sake brewed by another alumnus, will be served. Many novel playful ICU merchandise will be on sale as well.

Distinguished Alumni of the Year awards are conferred on graduates, former faculty, employees and anyone affiliated with the university, who have raised the visibility and/or appeal of the school or the alumni association. This year, the DAY awards will be presented to five graduates for their distinguished services.

2019年 ICU同窓会桜祭り

開催日:2019年3月30日(土) 場所:ICUキャンパス内礼拝堂・大学食堂

● 総会・DAY賞表彰式・13期生の卒業50周年記念式典(大学礼拝堂にて)

10:00 開場 10:30 開始 12:30 終了予定

● 懇親会(ダイアログハウス内大学食堂にて)

12:50 開始 14:00 終了予定

参加費:卒業生および成人の同伴者 4000円、同伴者のうち中・高・大学生 1000円、同伴者のうち小学生・未就学児 無料、ICU在学生 1000円

※13期生ならびに、2018年夏季と2019年春季ご卒業の皆様は「無料ご招待」とさせていただきます。

詳細につきましては同窓会Webサイトのhttps://www.icualumni.com/event/131をご参照ください。

ICU Alumni Association Sakura Matsuri 2019

Date: March 30 (Sat), 2019

Venue: ICU Campus University Chapel and Dining Hall

Alumni Association annual General Assembly, DAY Awards ceremony and semicentennials cerebration will be held in the University Chapel

Venue opens 10:00 Meeting starts 10:30 Ends 12:30

Reunion reception will be held in University Dining Hall, the Dialogue House

Starts 12:50 Ends 14:00

Entry Fee: Graduates and accompanying adults ¥4000 · Accompanying middle, high school and university students ¥1000 · Accompanying primary school pupils and preschoolers free · ICU Students ¥1000

**Semi-centennials, June 2018 graduates, students scheduled to graduate in April 2019 will enjoy free food and drinks!

お願い 総会への出欠のいかんに関わらず、出欠のご連絡をお願い申し上げます。

締め切り:3月14日(水)※13期生の皆様は、別途郵送するご招待状ハガキをご利用ください。

RSVP Deadline: March 14, 2019 To the semicetennials: Please bring along the invitation postcard which should reach you by mail.

出欠の連絡方法 Please use the web form to indicate if you are attending or not the annual general meeting

• Web7 \pm - \triangle Register on the homepage **https://goo.gl/forms/l19scX0Rm3A4EJYa2** • QR \exists -F Scan the QR code



- メール (aaoffice@icualumni.com)、FAX (0422-33-3320) または官製はがき (〒181-8585 三鷹市大沢3-10-2 ICU同窓会事務局) でお知らせいただく場合、以下の項目についてお知らせください。
- ・出席される方のお名前とName (in alphabet)(必須)
- ・期またはID(必須)
- ・旧姓
- ・総会へのご出欠(必須)
- ・欠席の場合に議決権を委任する方のフルネーム(空欄の時は議長に一任とさせていただきます)
- ・懇親会へのご出欠(必須)
- ・懇親会へのご同伴者 (ご同伴者も同窓会員である場合、 その方のお名前 (フルネーム) と期をあわせてご記入ください)
- ・懇親会への同窓会員以外の成人のご同伴者数
- ・懇親会へのご同伴の中~大学生数、ご同伴の未就学~小学生数 〈お問い合わせ〉

同窓会事務局 aaoffice@icualumni.com 0422-33-3320 (平日10:00 ~ 15:00)

Please email to aaoffice@icualumni.com, fax (no. 0422-33-3320) or send a prepaid postcard with the following essential information:

- name of participant in Japanese & English
- ID no.
- original family name, if any
- attendance or not to the annual general meeting
- if not attending the annual general meeting, the full name of the person you are delegating your voting right to (if left blank, your voting right will be delgated to the chairperson)
- attendance or not to the reunion reception
- name of accompanying persons (if ICU alumnus, full name and ID no.) $\,$
- number of accompanying adults
- number of accompanying middle, high school or university students
- number of accompanying primary school pupils or preschoolers

Please make any inquiries to the Alumni Association office by emailing to aaoffice@icualumni.com

or phoning 0422-33-3320 on weekdays between 10:00 and 15:00

DAY 賞 (Distinguished Alumni of the Year Award) 2019 受賞者決定!

ICU同窓会では、それぞれの分野でご活躍され、大学および同窓会の魅力度・知名度を高めることに貢献した方々を、

毎年「DAY (Distinguished Alumni of the Year)」として表彰しています。14年目となります2019年のDAY賞受賞者は以下の皆様です(敬称略)。 表彰式は、2019年3月30日に開催予定の同窓会「桜祭り」にて行われます。皆さん、どうぞご参加ください。ご一緒にお祝いしませんか。

ICU同窓会・DAY賞選考委員会

金澤正剛

KANAZAWA, Masakata (1)

ルネサンス音楽史専攻、古典音楽、宗教音楽の日本における第一人者。人文科学の分野で日本人初のHarvard大学博士号を取得。研究・著作活動に対し、米国ASCAP賞(1980)、日本ミュージックペンクラブ賞(1998)を受賞している。

横田洋三

YOKOTA, Yozo (8)

国際法・人権保護の分野で研究・実践双方で多大な実績をあげ、著作多数。世界銀行、国連人権委員会など国際機関での活動歴も豊富。ICU在職中の教え子からは、国際機関職員や外交官を多数輩出している。

長井鞠子

NAGAI, Mariko (11)

同時通訳として日本で草分け的存在。在 学中の1964年東京オリンピックで通訳 を体験、同時通訳の道に入る。以来、多 くの国際会議・首脳会議などで活躍、 IOC総会では2020年東京オリンピック 招致にも貢献した。

安藤公秀

ANDO, Kimihide (26 ID82)

現三菱商事パキスタン総代表、パキスタン在住。20年に渡る日・パ両国の架け橋としての貢献に対して、2018年3月に「パキスタンの星」最高栄誉賞を受勲した。ビジネスだけでなく両国の文化交流にも幅広く活動している。

功能聡子

KONO, Satoko (31 ID87)

NGO/世界銀行/JICAなどを経て、カンボジアでの支援経験から、ビジネスを通じた脱貧困を支援するARUN(アルン)を2009年に創設、社会貢献ビジネス・社会的投資の先駆となる。2018Forbes Japan「地球で輝く女性100人」に選出された。

事務局からのお知らせ

★ 広告募集!

本誌では広告を募集しています。フルサイズ6万円、ハーフサイズ3万円で承っております。ご興味のある方は、詳細を 事務局までお問合せください

★ 原稿をお寄せください!

期会、リユニオンなどの案内・報告をお寄せください。本誌および Web サイトに掲載いたします。

★住所変更について

住所・勤務先・氏名の変更の際はメール (aaoffice@icualumni.com) または 同窓会のWebサイトの住所変更から、ご一報ください。地方・海外にご転勤の際には支部をご紹介いたします。 同窓会事務局までお問合せください。 携帯の方はこちらからどうぞ:



★ ご協力をお願いします

大学の宣伝=大学への支援という考え方から、同窓生の著作、雑誌インタビューなどには、略歴欄に「国際基督教大学卒業」とお入れいただけますよう、お願い申し上げます。

福利厚生プログラム ICU同窓会WELBOXのご案内

同窓会では、株式会社イーウェルが運営する「WELBOX」という福利厚生プログラムを導入しています。会員制リゾートホテル・ハーベストが利用できるほか、国内宿泊のお得なプラン、映画や東急ハンズの割引、ヘルスケア、保育サービスなど、多様な優待プログラムが準備されており、同窓会員本人だけでなく、兄弟姉妹や子、孫、祖父母まで利用することができます(2 親等以内の家族)。

なお、終身会費をお納めいただいていない方はWELBOXのご利用登録ができません。ご不明な点は、同窓会事務局までお問い合わせください。詳しくは、以下で。

https://www.icualumni.com/ to_alumni/welbox/

— DAY賞候補者をご推薦ください ——

Distinguished Alumni of the Year (DAY) 賞は、国際基督教大学に在籍したことのある方(卒業生・留学生・教職員。ただし故人は対象外)の中から、大学、および、

同窓会の知名度・魅力度を高めることに貢献した方に対し、 その功績を称えるために贈呈されます。皆さまからのご推 薦をお待ち申し上げております。

- ※自薦・他薦を問いません
- ※推薦および選考については公開されません。
- ※推薦は年間を通して受け付けておりますが、毎年10月15日受け付け分までを選考対象として 翌年の桜祭りで受賞者を表彰します。
- ※受賞者は同窓会Webサイトで発表するとともに、アラムナイニュースでお知らせいたします。
- ※推薦方法

WebサイトのDAY Awardより「DAY賞候補者をご推薦ください」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、ICU同窓会事務局あてに郵送/FaxまたはEmailでお送りください。

※必要事項

- ・推薦したい方の氏名と卒業年、あるいは在籍年(分かる範囲で)
- ・推薦理由(新聞記事などの客観的資料があれば併せてお送りください)

・あなた(推薦者) の氏名と卒業年

・あなた(推薦者)の住所・電話番号・Emailアドレス

※歴代受賞者名は、同窓会Webサイトに掲載しております。

ICU同窓会事務局

〒181-8585東京都三鷹市大沢3-10-2

Tel/Fax: 0422-33-3320

Email: aaoffice@icualumni.com

STAFF

EDITOR IN CHIEF

神内一郎 JINNAI, Ichiro (33 ID89/G1992)

MANAGING EDITOR

安楽由紀子 ANRAKU, Yukiko (40 ID96)

EDITORS

鈴木律 SUZUKI, Ritsu (23 ID79) 望月厚志 MOCHIZUKI, Atsushi (26 ID82) 新村斂雄 SHINMURA, Toshio (27 ID83) 樺島榮一郎 KABASHIMA, Eiichiro (37 ID93/G1997) 星川菜穂子 HOSHIKAWA, Naoko (40 ID96) 小林智世 KOBAYASHI, Tomoyo (52 ID08) 榎原望美 ENOHARA, Nozomi (53 ID09) 加藤菜穂 KATO, Naho (53 ID09) 亀山詩乃 KAMEYAMA, Shino (54 ID10) TANIZAWA, Satoshi (54 ID10) 谷澤 聡 滝沢貴大 TAKIZAWA, Takahiro (62 ID18)

COVER PHOTO

松島眞理 MATSUSHIMA, Mari (36 ID92)

ART DIRECTOR

佐野久美子 SANO, Kumiko (44 ID00)

PRINTING DIRECTOR

坂井 健 SAKAI, Takeshi(小宮山印刷)

EXECUTIVE DIRECTOR

松島眞理 MATSUSHIMA, Mari (36 ID92)

PUBLISHER

櫻井淳二 SAKURAI,Junji (28 ID84)

ご意見・ご感想をお気軽に

アラムナイニュースは、同窓生のみなさまの ために制作しているものです。今後の制作の参 考にしますので、ご意見・ご感想、企画や人物 の紹介などがある方は、メールにてお気軽に事 務局までお知らせください。

アラムナイニュース編集部員募集

あなたの経験をANに生かしてみませんか? 企画、取材、執筆、撮影、編集進行などを一緒 にやっていただける方を大募集中です。もちろ ん未経験でも可。最初は一緒に取材などを行い ながら編集のプロから直接技術を学べますし、 3年ぐらいやれば、一通り編集の基本が身に付 きます。もちろん、現役の学生さんも大歓迎で す。興味のある方は、同窓会事務局へメールで ご連絡ください。

aaoffice@icualumni.com

■大学・同窓会に関する情報が満載です。

ぜひ一度ご覧ください。

同窓会Webサイト https://www.icualumni.com/

同窓会facebook

https://www.facebook.com/icualumniassociation 大学 Web サイト http://www.icu.ac.jp/

JICUFWeb サイト http://www.jicuf.org/

■ ICU 同窓会事務局

〒 181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL&FAX: 0422-33-3320

Email: aaoffice@icualumni.com

■ 同窓会広報部(ALUMNI NEWS 編集部)

Email: kohou@icualumni.com

